

# NU7

National University Seven

国立七大学の総合情報誌

2017.05 No.11

# 北海道大学 名和豊春 新総長に聞く

七大学で卒業式  
名古屋講演会講演録

七大学・同窓会・会員活動情報  
学士会・学士会館ニュース

学士会

# 七大学で卒業式が挙行了れました

2017年3月下旬、七大学で卒業式が挙行了れました。学士会では、東大・京大・名大において新入会勧誘を行い、結果、多くの新卒業生が仲間に加わって下さいました。



各大学の卒業式の様子は「七大学卒業式の情景」(38・39頁)をご覧ください。

# 名和豊春

## 北海道大学 新総長に 聞く！



インタビュー内容は、3頁より！

学代会  
応援中

七大学OBサッカー大会が開催！

2017年

3/4 土  
9:30~

in 市原スボレクパーク

七大学サッカー部OB達が集い、年齢別に競い合う「七大学OBサッカー大会」、今年の幹事は九大でした。試合結果は、以下の通りです。



### O60 (60歳以上)

	北海道	東北	東京・名古屋	京都	大阪	九州
北海道		△ (0-0)	△ (0-0)	△ (0-0)	○ (1-0)	△ (1-1)
東北	△ (0-0)		△ (0-0)	× (0-1)	△ (0-0)	△ (0-0)
東京・名古屋	△ (0-0)	△ (0-0)		× (0-2)	× (0-2)	△ (1-1)
京都	△ (0-0)	○ (1-0)	○ (2-0)		○ (2-0)	△ (0-0)
大阪	× (0-1)	△ (0-0)	○ (2-0)	× (0-2)		△ (0-0)
九州	△ (1-1)	△ (0-0)	△ (1-1)	△ (0-0)	△ (0-0)	

北大、東北大、東大・名大（連合）、京大、阪大、九大の6チームでリーグ戦（1試合15分、各チーム5試合）

### O40 (40歳以上)

	EAST		WEST	X (1-8)												
	EAST	WEST			北海道	東北	東京	名古屋	京都	大阪	九州					
EAST																
WEST			○ (8-1)													

EASTとWESTの2チームに分けて対戦（17分×2（前後半）+30分）

北大、東北大、東大、名大、京大、阪大、九大の7チームでリーグ戦（1試合20分、各チーム6試合）



# NU7

National University Seven

国立七大学の総合情報誌

2017.05 NO.11

7 UNIV.

## 七大学で卒業式

01

## 北海道大学

## 名和豊春新総長に聞く

03

7 LECTURE

名古屋講演会

## 科学技術の課題と展望

11

濱口道成 (国立研究開発法人科学技術振興機構理事長 / 前名古屋大学総長)

7 UNIV.

## 七大学情報

17

七大学卒業式の情景 38

七大学書籍ランキング 40

7 ALUMNI

## 同窓会案内・開催報告

23

7 MEMBERS

## 会員通信

29

会員著作物紹介・会員活動報告

『会員通信』原稿募集のご案内

7 NEWS

## 学生会・学生会館より

33

7 STAFFs

## 編集委員コラム

42

JOIN US!

## 学生会の紹介

表 4



表紙写真…大阪大学写真部 4年 吉成哲平

# “独立心と自律心を持った 豊かな北海道大学”へ

2017年4月1日、名和豊春氏が北海道大学第19代総長に就任されました。  
これからの6年間の抱負について語っていただきました。

## 名和 豊和 第19代北海道大学総長

1977年北海道大学工学部建築工学科卒業。1980年同大学院工学研究科建築工学専攻修士課程修了。工学博士（東京工業大学）。

秩父セメント株式会社中央研究所（現・太平洋セメント株式会社）、秩父小野田株式会社中央研究セメントコンクリート研究所を経て、1997年北海道大学大学院工学研究科助教授。同大学院工学研究科教授、同大学院工学研究院長・大学院工学院院长・工学部長を歴任し、2017年4月より現職。

### 対話を重ねて大学独自のビジョンと戦略を練る

——総長として、目指すべき北海道大学の姿をどのようにお考えでしょうか。

名和 世界人口はいま、1年に約8,000万人が増えることによって70億人を突破し、食糧や資源の不足、少子高齢化や環境問題が深刻化しています。さらに、世界経済のグローバル化により、問題の解決は一カ国で済む問題でなくなり、沢山の事柄が複雑に絡み合った国際問題となりつつあります。

一方で、情報通信技術の急速な発達により膨大な情報が一瞬に世界を駆け巡る環境ができ上がり、これまで想像すらしていなかった科学技術イノベーションが、次々と生じてきており、その結果、大学に対して、イノベーションやグローバル化に対応した改革が待ったなしで要請されてきています。

このような中で、基盤経費が少なくなり、大学の研究者は競争的資金の申請や獲得後

の事務作業に追われ、研究に従事する時間が減少しており、それによって大学現場における研究・教育の競争力が失われ、さらに短期的な結果を求める競争的資金の増大により、長期的展望に則った基盤的研究が弱体化し、若手研究者がアカデミックから遠ざかる危機に瀕しております。このような状況では、1980年代に世界トップレベルの革新的な科学技術を創造した我が国の「知の集積」が消尽されてゆき、やがて喪失することが危惧されます。

北海道大学が今置かれている危機的な状況を突破するためには、全学の教職員の声に真摯にそして謙虚に耳を傾け、大学が向かうべき将来像を考え直す必要があります。その最善策を導き出すためには、大学の基本理念や費用対効果の観点から、事業内容を精査し、戦略を再構築することが必要です。

北海道大学の礎である「札幌農学校」は、我が国のフロンティアであった北海道の開拓のために設立されました。しかし、耕地

の多くは作物の生育には不向きな泥炭土や火山灰土からなり、排水や客土をして良質な土壌を作ることから始まり、長い年月の研究と実践を経て現在に至っております。

北海道大学には、140年の長きにわたって培ってきた農学の知があり、さらには創設100周年を迎える医学では内視鏡手術や“陽子線”を体内で動いているがん組織に狙い撃ちできる治療技術、鳥インフルエンザによる人獣共通感染症対策などの優れた知があります。また、理工系では、ノーベル賞を受賞された鈴木章名誉教授に代表される物質科学の世界的成果など数多くの先端研究があります。

私は、これら大学の有する農学系、医学系、理工学系の「知の集積」を活かし、それらを横断する、あるいは社会科学系と融合する、新たな研究領域を作る「北海道大学独自のビジョン」とそれを「実行する戦略」を、教職員や研究者と対話を重ねて作っていきます。そして、大地をしっかりと踏みしめながら、着実な歩みを進め、「独立心と自律心を持った豊かな北海道大学」を創り上げていきたいと思えます。

## 開かれた大学運営へ

——運営面で配慮することは。

**名和** 大学は、様々な知識とキャリアを有する研究者・教育者の集団からなる組織であり、北海道大学のような総合大学で、総長が学内の全てをコントロールするのはどう考えても不可能といえます。総長の考えを、いかに全教職員に伝え理解してもらうかという意識の共有が大切です。そのためには、各部局の教授会に出席して、現場の生の声を聴き、意見の交換、対策の絞り込みをする必要があります。時には、どうするかを現場から提案して頂き、検討するのも一案です。共に実行していく「協働」（私は心と心がつながっている「協働」だ

と言っています）が大切なのです。但し、意見が出し尽くされ、議論が膠着状態になって結論がでないとき、特に、現在継続中の事業を止める場合には、議論が平行線をたどることが多々あります。しかし、取捨選択しなければ、大学の改革は難しいのが事実であり、総長が責任を持って決断する、これがガバナンスと考えます。

## 世界の「トップ100」を目指す

——研究の面ではどうでしょうか。

**名和** 「世界の卓越大学に伍す研究拠点大学」を実現するため、「世界トップ100」の研究・教育拠点の構築を目指します。理由としては、世界トップレベルの研究をしている環境が最善の教育環境であり、世界レベルの優秀な学生や研究者が集積すれば世界トップレベルの研究の遂行が可能になるからです。

日本の技術者や研究者は、世界的にも非常に高い評価を得ています。しかし、その集合体である大学の認知度や評判はあまり高くないと、行政や産業界から指摘されます。

この最大の原因は情報発信にあると考えています。世界で認識してもらうためには、海外大学との違いや自らの研究成果だけでなく、研究や教育の将来構想やその実行プランと成果を積極的に世界に向けて情報発信し、アピールしなければ、誰の目にもとまらず、世界の中でのランクを上げることができません。しかし、単に英文の学術論文の数やインバウンドおよびアウトバウンドの海外留学生数を増やしたり、海外大学での成功事例を模倣した短期的な改革案を遂行しても、必ずしも問題が改善するとはいえません。

鈴木章先生の名を冠したホールのある新築した建物には、物理、化学と環境工学の先生が同居しているのですが、ある若手の

先生から、環境中にある微量物質を高精度で測定する方法を研究していた所、物理の先生から「そんな原理は既知の事実で、教科書に載っている」と指摘されて驚いたと聞き、驚愕しました。

日本の研究は応用研究の分野がとても強いといわれておりますが、基礎研究があつてこそその応用研究であると思います。昨年ノーベル賞を受賞された大隅良典先生も「多様な基礎的研究が必要」といわれておりますが、研究の多様性がとても大切です。

多様な応用研究と基礎研究が、1つのキャンパスで一緒に行われていることは北海道大学の大きな強みです。この強みを更に伸ばし、「世界トップ100」に伍する研究領域を創成できる研究環境を整えます。

——基礎研究の費用は、どのように確保するのでしょうか。

**名和** 国からの基盤経費はほとんどが人件費として支出されている状況です。多くの研究はその資金を、競争的資金に依存しております。しかし、基礎研究と競争的資金の親和力は高くないのが現実です。一方で、自動車の自動運転による事故の責任所在に関する議論では、科学技術研究の他に、倫理に関する研究も必要であり、競争的資金に直接関与しなくとも必要な研究領域が存在します。また、これまで我が国の産業を支えてきた冶金・金属工学、電気工学、土木工学などの分野においては研究活動の縮小や人材の減少など絶滅の兆候が見られており、産業基盤を脆弱化させる懸念がしきりに噂されております。我が国の産業開発は、先端技術のみならず絶滅危惧分野を含む基盤技術との融合によって成り立っており、新成長戦略を成功させるためには、融合型の技術開発が欠かせません。したがって、競争的資金や企業との共同研究や受託研究などで獲得した外部資金の一部を留保し、学内の基礎研究を支援する仕組み—

例えば学外に財団を組織し、そこを通して研究する仕組みを作っていきたいと思えます。

## 自ら考え、動き、未来に挑戦する人材作り

——北海道大学ではどのような教育をしてどのような人材を育てたいのでしょうか。

**名和** 先ほども述べましたが、グローバル化が急速に進み、インターネットが世界の各地を一瞬で結び付ける現在、世界はその姿を大きく変えつつあります。

人間や社会そして自然における様々な現象や変化は、多種多様な条件を背景とし、しかも相互に関連し合うため、単純には解き明かせない複雑な様態を呈しています。このような時々刻々と事態が急激に変化する状況では、従来の学問の延長線上でものを考え、問題を解決することは本当に難しいといえます。

このような状況では、現象や事態がどのようなものであり、そしてなぜそのようなものになるのか、自ら問いを発して、自ら調べ、自ら解明し、自ら理解してゆくことが求められます。言い換えると、自分の頭で考える「思考力」と自ら行動する「自律力」が求められているのです。

「考える」ということは、既存の価値や思考方法が本当に正しいのかと疑い、それを変え、時には壊していくことです。イギリスの生物学者ダーウィンが『種の起源』の中で述べたように、「最も強いものが生き残るのではなく、最も賢いものが生き残るのでもなく、変わりうるものが生き残る」のです。それゆえに、「考える」ためには既存の価値や思考方法に拘束されてはなりません。大学が自由であり、社会の中で特異であったのは、この「考える」という営みのためと言えます。

北海道大学は、その源である1876年の

「札幌農学校」の開学以来、140年を超える歴史の中で、未踏の学問領域を積極的に探求すること、国際性や多様性への柔軟な感受性を持つこと、人間形成の基となる幅広い教養を培うこと、そして、物事の本質を把握しそれを実際にも活かす実のある研究を進めることで、学生の自律心、独立心を目覚めさせてまいりました。

北海道大学に入った学生は、最初の1年間、高等教育推進機構・総合教育部に籍を置き、文系と理系に大きく分かれて、様々なバックグラウンドや希望をもった仲間たちと共に学修します。そこでは、高校での学修とは全く異なり、自ら創ることが求められます。そして、このようにして教養を培うことを基礎とし、2年次以降に続く各学部の特設課程での学修も実を深めて行くことができ、学生一人ひとりが、自らの可能性を発見し、それを育み、そして自分の持つ真の才能を理解し、未来の世界へ

挑戦する「思考力」と「自律力」を育てていきます。

——大学の国際化については？

**名和** インターネットの普及や社会のグローバル化により、情報、物、人が国境を越えて交流するのが通常となった今は、外国語で意思の疎通がとれることは勿論、異なる文化的背景や価値観を持つ人々と対話し、相互理解を深める中で互いに学び合うことができなければなりません。

札幌農学校は、初代教頭であったウィリアム・S・クラーク博士ほか、全員が米国のニューイングランド地方から派遣された外国人教師でした。講義は全て英語であり、「英語を学ぶ」だけでなく、「英語で考える」実用的な外国語教育がなされ、『武士道』の著者であり国際連盟事務局次長を務めた新渡戸稲造、米国の教科書を著した土木工学者の廣井勇、宗教家の内村鑑三などのグローバル人材を輩出しました。北海道

大学では、2013年度より「新渡戸カレッジ」を開校し、学部1年生から、英語を学ぶだけではなく、英語で学び異文化を理解する能力をつけるとともに、海外留学を経験させて、グローバル社会で活躍できる人材の養成を図っております。入学された皆さんが、本プログラムに積極的に参加し、海外の異なった考え方や価値観を理解し、グローバル人材として成長して頂きたいと思います。

今年度は、新たに「医理工学院」「国際感染症学院」「国際食資源学院」という3つの国際大学院を発足させ、海外トップ大学と連携して世界最先端の教育を行います。また、「九州大学大学院工学府との共同資源工





学専攻」も立ち上げ、世界を視野に入れた、次世代を担う人材を育成します。

なお、海外の未踏の地に一人で踏み入るには、思考力や自律力だけでは不十分で、『武士道』のように自分の存在感を示し、力強い印象を与えなくてはなりません。これには、大変な勇気が必要です。クラーク先生は、8カ月の短い滞在の後、札幌を離れる時、学生に「Boys, be ambitious」を言い残しました。私は、北海道大学の学生と教職員が、このフロンティア精神を胸に抱きつつ協働して、学問を深め、新たな叡智を創り出すことで、「世界が抱える問題を解決し、人類の幸福に貢献できる、自ら考え、動き、未来に挑戦する人材」を創り上げてゆきたいと思います。

## 深い人間関係の中で学問を追求

——これまでの人生で印象的な出来事は何でしょうか。

**名和** 私は、北海道出身で岩見沢東高校を卒業したのですが、高校の校訓「自学自習」が、クラーク先生が札幌農学校で諭された「Be gentleman!」と同じで、クラーク先生の言葉とキャンパスに魅力を感じ、北海道大学を選びました。

大学では、絵画が趣味だったため建築工学科を選択しました。しかし、もともと物理や数学が好きで、低温での物性に興味があったものですから、意匠設計ではなく、建築材料の研究室を選びました。

卒論では、コンクリート中の水分が何°Cで凍結するかを研究しました。建築とは全く無縁な熱量計を自前で作り、水分の凍結や融解を調べました。しかし、いほど簡単ではなく、温度調整のための発熱体の作成や電気制御のための電気回路の設計・組立、さらに熱伝導の微分方程式を解いて装置を設計する必要があり、図書館から電気や物理の専門書を借りてきて勉強に明け暮

れました。最後は機械工作室やガラス工作室に出向き、技官（現在の技術職員）に教えて、見たこともない工作機を使って、自前で装置を作りましたが、何度も上手いかわず途方に暮れたのをよく覚えております。そんな時に、研究室の先輩、同期、後輩が励まし、助けてくれました。今あるのも彼らのお陰です。最近、1つの領域だけしか知らない「蝸壺」的教育が問題となっておりますが、私の学生時代は、複数の主専攻を学び、今流行のPBL教育そのものでした。

研究室では、研究だけでなくスポーツも一緒にやり、卒業した先輩や共同研究している企業の方々と、会社での仕事や人生について、実験や解析が終わった22時から夜を徹して語り、様々な人たちと一緒に仕事をする術を知らぬ間に身に付けることができました。

また、指導教官は、議論には大変丁寧につき合ってくれ、手本を見せてくれるのですが、自分で計画を作り実験をしなければ、何も助言を頂けませんでした。

約20年後に大学に戻り、修士学生に「どうしたらいいかわかりません。教えてください」と聞かれたとき、私は指導教官の気持ちが理解でき、こう答えました。「何かをしたいという計画や、何らかのデータがあれば相談できます。しかし、今の問いでは君の質問の意図がわかりません」と。

定型的な教育ではなく、一人ひとりの個性に合わせた、全人教育がなされてきました。卒論、修論準備で苦勞している学生のために修士1年生の学生が鍋を作ってくれたりします。深い人間関係の中で学問を追求できた経験は大きく、その後の私の人生訓が、大学で形成されたと言えます。

## 産学官で“研究開発のプラットフォーム”を

——外部資金の獲得の一つとして産学共同があると思いますが、産学連携あるいは社会連携に関してはどのようなことを考えていますか。

**名和** 北海道大学が中核となり、食と農林水産の研究・産業集積地「フードバレー」を作っていきたいと考えています。

北海道は、自然に恵まれた広大なフィールドがあり、農業産出額は1兆円超で全国の12%（2012年度）、食料自給率は201%で全国第1位となっており、我が国最大の食料供給基地といえます。

日本は安全で高品質な食品を提供する技術を有している一方で、産業として捉えた場合は規模やコストの面で多くの改善が必要とされています。オランダは、土地の多くが肥沃とは言えない不利な農業条件にもかかわらず、大消費地へ農産物を送り届けることを戦略的に強化してきました。その結果、米国に次ぎ世界第2位の食料輸出国として農業分野で高い競争力を保持するに至っています。このようなオランダの農業の強さの背景にあるのが、フードバレーと呼ばれる食の科学とビジネスに関する一大集積拠点で、ワーヘニンゲン大学が大きな役割を果たしています。

大学周辺に他の国立研究機関や食産業関連企業を集めて産学連携を推進しています。北海道大学も同様の仕組みを整えて「北海道版フードバレー」を作りたいと思っています。さらに、企業と研究機関の調整役として、産学官が出資する財団の立ち上げを目指したいと考えています。

企業は利潤や成果がなければ大学との共同研究をすることはありません。一方、大学の教員は、レベルの高い学術研究を行い、その成果を論文として公表し、世間から高

い評価を得ることが目的となります。産学連携は、そういった双方の意図が共有される必要があります。そのためには両者をスムーズにつなぐ組織が必要です。私は、この機関として財団を学外に作り、外部資金の調達と同時に、研究者に研究費を出資するファンドの役割、さらに研究の進捗状況を把握し、助言を与えるリサーチ・アドミニストレーターの役割も持たせたいと思います。

なお、「北海道版フードバレー」、つまり農のプラットフォームは、決して北海道大学のためだけではなく、例えば道内の他大学に研究費を支出することも、九州から共同研究に来ることも可能にします。こうした、柔軟性の高い、盤石なファンドを作ること、10年、20年と長期にわたる研究開発を計画することが可能になります。

地域との連携に関しては、この場所に140年間キャンパスがあるのですから、市民から愛され、北海道、札幌市と共に発展していきたいと考えています。

また、日本を俯瞰してみると、それぞれ大きなエリアの中心部にある七大学との連携を図っていきたいと考えています。例えば、各大学がそれぞれ得意な産業分野や特徴を持った学問分野に関するプラットフォームや共同研究を実施できるような施設を作れば、そこを拠点とした研究や情報交換ができます。

## 大学のアドバイザーボードとしての卒業生の役割

——卒業生の役割についてどのようにお考えですか。

**名和** 北海道大学は、鈴木章名誉教授や、日本で最初の宇宙飛行士となられた毛利衛さんを始めとして、各界に幅広く有意な人材を輩出してきました。

昨年6月には、数多くあった同窓会を統合して北海道大学校友会エルムが設立さ

れました。最大の目的は、大学自らが改革プランを実行することに加えて、学部同窓会や国内外の地区同窓会の垣根を越えた横断的な連携を構築することです。校友会は、卒業生に加え、大学の教職員、在学生・院生さらには保護者等を含めた全ての関係者で構成されています。今、北海道大学には約1,900人の教員がいますが、校友会の場合、数万という人の目で見てもらえます。それがいい大学を作るのです。校友会は大学の一部であり、その構成員である卒業生、在学生・院生、その保護者は大学の一員です。北海道大学の最大、最強の応援団となつて頂けるよう期待しております。

もう活動は開始しており、今年3月には、北海道大学校友会が「北海道大学企業研究セミナー」を開催し、大学のキャンパス内にブースを設け、採用担当者が直接学生に対して企業の説明を行う就職支援をして頂きました。今年の参加企業数は約750社ですが、各企業の採用担当者から「ぜひ、北大生を採用したい」という声を沢山頂いております。北海道大学を卒業した諸先輩が実社会に出て大いに活躍したことが、大学に対する高い評価と信頼に繋がり、現在も多く有力企業に卒業生を採用して頂いております。

また、卒業生のネットワークを活用した新たな就職支援策として、学生の皆さんが就職を希望する業界のOBと接する業種別懇談会や、OBの個別アドバイスにより、希望する企業への就職を支援することも検討して頂いております。

もっと私たちがよくなるように苦言も呈して欲しいし、一緒に悩んでいって欲しいと思っています。

卒業生からは、大学のアドバイザーボードとして、私のこれからの施策について様々な意見を聞かせてもらい、産業界の情報や意識も教えて頂きたいと考えています。

2004年に始まった国立大学の法人化以降、国から大学に交付される基盤的運営資金が漸減され、大学にも、自己収入を増やしつつ、独自の方針を持ち、個性豊かな大学を創造することが求められています。このような状況の中、北海道大学は札幌農学校創基130年にあたる2006年に「北大フロンティア基金」を創設いたしました。現在、約1,900名の個人、同窓生、保護者及び教職員の方々、また910の企業及び法人の方々から、総額で約34億円の寄付を頂き、在校生の海外留学などに役立たせて頂いております。このように多額の寄付金が集まるのは、卒業生の大学に対する愛校心がとても厚いことが背景にあります。自分を育ててくれた大学に対する感謝と自分の子弟を入学させるチャンスを高めたいという様々な思いなどが、多額の寄付金が集まる原動力になっていると思います。

今後は、毎年開催するホームカミングデイにおいて、卒業生のために人気教授の授業を開いたり、学長や理事から大学の教育



方針、運営方針、寄付金の使途などを丁寧に説明していく予定です。

## 大学生活で人生の拠り所を見出す

——最後に学生へのメッセージをお願いします。

名和 個人には「自分の人生において目指すもの」が必ず一つは存在します。学生の皆さんにはぜひ、これからの大学生活の中で自分自身と向き合い、その大切な「何か」を見つけて頂きたいと思います。それは親友かもしれませんし、「これをずっと突き詰めた」という研究テーマかもしれ

ません。私の場合、大学院時代に「何事も実施する。また失敗しても諦めない」という心構えを身に付けることができ、その後の研究生生活に大いに役立ちました。皆さんが人生の拠り所と出会い、充実した日々を過ごせるように、大学教職員一同が応援しています。頑張ってください。

北海道大学を揺るぎなく支えてきた誇りある基本理念とそれに基づく長期目標を実現すべく、総長として、対話を大切にし、色々な方のご意見を聞きながら、豊かな北海道大学を目指して邁進してまいります。

——どうもありがとうございました。

## “独立心と自律心を持った豊かな北海道大学” へ向けた 15 の行動プラン

### I. 「世界トップ 100」を目指す研究・教育拠点の構築

1. 教職員育成の強化
2. バランスの良い基礎研究と応用研究の実施
3. リベラルアーツ型教育の再構築
4. 政府機関・自治体・民間企業と連携したインターンシップの実施
5. 産業界との連携
6. 地域連携の推進

### II. 部局の教職員の声を聴く民主的な運営体制の構築

7. 第三期中期計画や近未来戦略 150 を負担の少ない形で実行
8. 部局との対話に基づく総長ガバナンスの充実
9. 各部局の自律的な運営体制の尊重

### III. 健全な雇用体制の構築

10. 正規教員人件費ポイント削減率 7.5% と教職員の雇用確保

### IV. 健全な財政体制の構築

11. 「世界トップ 100」を目指す財務状況の創出
12. 「指定国立大学法人」への申請
13. 大学の財務状況の明確化
14. 各部局との意見交換に基づく学長裁量経費の適切な運用
15. 研究・教育プロジェクトの PDCA の実施

# 名古屋講演会

開催日：2016年12月9日（金）

会場：名古屋大学 坂田・平田ホール

## 科学技術の課題と展望

国立研究開発法人科学技術振興機構理事長／前名古屋大学総長（第13代）／  
名古屋大学全学同窓会顧問／学会代議員

はまぐち みちなり  
濱口 道成

### 世界的に起きている社会変化

#### ①持続可能性の重視

現在、北京では大気汚染が深刻です。幸い、日本の既存の技術が役立つそうですが、今後、技術開発には社会の持続可能性に寄与することが求められるでしょう。

#### ②知識社会・情報社会の始まり

1969年、ピーター・ドラッカーは「財の経済から知識経済に移行する」と予測しました。彼の予測が特に当たったのが情報爆発です。喜連川優東京大学教授によれば、「世界に存在する情報量は、有史以来2000年頃まで大して変化しなかったが、2000年以降爆発的に増加し、ゼタバイト（ $10^{21}$ ）の時代」になりました。今や、玉石混交の大量の情報が一瞬に飛び交い、世界を動かす時代です。

#### ③ITによる急速な社会変化

2013年、マッキンゼーの発表した「2025年までに世界を変える

12の破壊的技術」の半数がITでした。

#### ④コンピュータが変える仕事

現在、インダストリー4.0（第4次産業革命）が起こりつつあり、ITが産業全体を変えています。

2011年、デューク大学教授は、「子ども達が大人になる頃、彼らの65%は、今はまだ存在していない仕事に就く」と予測しました。2013年にはオックスフォード大学教授が、「今後20年間でアメリカの702業種の半分が消滅する。経営、ビジネス、金融、コンピュータ、健康、教育などは残るが、サービス業などは消滅する」と予測しました。

### 日本特有の問題

#### ①急速な少子高齢化

2050年、日本の人口は現在の1億2千万人余から9千万人弱に減少し、労働人口は半減、高齢者は1.4倍増加すると予測されます。特に若者と30代が急減します。今後、

女性の活躍を増やし、高度専門職の移民を受け入れることは急務です。

国土交通省によると、2050年、現在人が住む地域の65%は、無人化するか、居住者が激減します。東京と名古屋だけは人口が増加しますが、東京は全老人の3分の1が集中する超高齢都市になるので、今と同じ活動を保つのは名古屋だけになります。

## ②莫大な財政赤字

## ③莫大な医療費

高齢者の医療費は2025年に84兆円で高止まりします。年間100兆円の国家予算の8割以上が医療予算、その半分以上が75歳以上の高齢者向けという時代がまもなく来ます。

## ④国際競争力の低下

1989年、日本の競争力は世界一でしたが、2012年に27位まで下がり、今も低下中です。アメリカは競争力2~3位を維持しています。人口増加を維持できているからです。

## 大学運営費交付金の削減

現在、大学が直面する最大の問題は、運営費交付金の削減です。毎年



1%ずつ削減され、法人化後の11年で計1,470億円減少しました。中規模の大学が30校消滅する額です。

最も多額を支給される東京大学でさえ教職員の給与の全額は賄えず、学生からの授業料で補っています。

なお、過去10年の高等教育への公財政支出は、主要国が増額させている中、日本だけがほぼ同額です。

## 日本の科学技術力の低下

英語で発表された論文を対象に、27分野で被引用回数を数えた調査があります。その上位10%を「トップ10%論文」と言います。

過去20年間のトップ10%論文の産出数を比較すると、1位はアメリカ、2位は中国です。ドイツはほぼ全分野で3位以内を維持し、フランスも高順位を維持しています。日本だけが2000年頃から順位を下げ、かろうじて5位を維持しています。

中国は2012年以降、材料科学など5分野でアメリカを抜いて首位です。アメリカが中国より優位なのは、臨床医学と基礎生物学だけです。近い将来、中国は科学技術大国として世界から認識され、多くの日本人が中国に留学するようになるでしょう。

過去20年間に日本が著しく凋落したのは、工学、エネルギー、応用化学など日本の基幹産業を支える分

野です。原因は国際化の遅れです。英語論文のうち国際共著論文の割合を見ると、日本は3割ですが、イギリス、ドイツ、フランスは6割です。

工学をさらに10領域に分けると、特に凋落したのは土木、機械、計算工学です。一方、電気電子、医用生体工学、材料力学などは、日本の国内論文のレベルは高く、イギリス、ドイツ、フランスに負けていません。しかし、国際共著論文が少ないため、全体として順位が下がっています。国内に活力が残るうちに日本を国際化させることが急務です。

### 上位の研究機関と都道府県

電気電子では、かつてはNTT中央研究所が1位でしたが、今は5位に下がり、東京大学が1位です。医用生体工学では、かつて京都大学が1位でしたが、今は4位です。かわりに圏外だった東北大学が1位です。東北大学は材料力学でも1位です。大阪大学も健闘していますが、名古屋大学はトップ5から消えています。

県別では、どの分野も東京が圧倒的です。大学が多いからです。しかし、大阪と愛知も強いので、もっと産学連携を深めていくべきです。

### サイエンスマップ

サイエンスマップとは、直近5年間のトップ1%論文の分布を示すことで、国際的に注目されている研究領域を可視化する試みです。

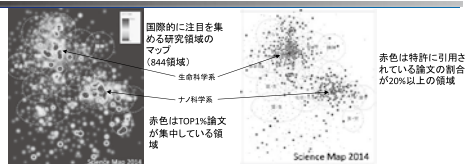
サイエンスマップ2004と2014を比べると、日米のシェア低下、中国のシェア倍増、ドイツの現状維持が分かります(図)。

誰もしない研究に一人で何年も挑む人が日本にはほとんどいません。しかし、アメリカには大勢います。イギリス、フランス、ドイツにもいます。中国はアメリカ人のしない研究が強いようです。

電池やネットワークなどの新領域では、中国のシェアが拡大しています。世界の科学技術は大転換期を迎えているのに、日本はトップを取るところか、新領域を切り拓くチャレンジ精神がありません。

国際的に注目を集める研究領域への日本の参画状況

サイエンスマップ：TOP1%論文の共引用のグループ化による注目研究領域抽出



主要国の参画領域割合(%)の変化

	全体領域数	米国の参画領域割合	日本の参画領域割合	英国の参画領域割合	ドイツの参画領域割合	中国の参画領域割合
サイエンスマップ2004 (1999-2004年の論文)	626	95% (596)	39% (243)	57% (355)	55% (343)	18% (113)
サイエンスマップ2014 (2009-2014年の論文)	844	91% (764)	32% (274)	63% (531)	55% (465)	42% (356)

(出典) 文部科学省科学技術・学術政策研究所, サイエンスマップ2014, NISTEP REPORT No. 169 (2014年9月版) にもとに, JSTが加工作成。



## 日本の凋落の原因

---

日本の凋落の原因は、研究予算や研究者数が少ないからではありません。『科学技術要覧』<sup>i</sup>によれば、確かに日本人研究者は17万人、中国人研究者は200万人ですが、ドイツ人研究者は日本の半分以下、イギリスはもっと少人数です。

日本の1人当たり研究費が少ないからでもありません。ドイツでは日本とほぼ同額、イギリスでは日本よりずっと少額です。

では何故日本だけが凋落したかという、研究投資が減少したからです。例えば、企業研究所の業績が最盛期の3割に低下したのは、企業が基礎研究に投資しなくなったからです。理化学研究所などの国立研究所が頑張っているのも日本全体の研究開発費は変化していませんが、世界は研究投資をどんどん増やしています<sup>ii</sup>。日本のトップ10%論文の産生量と科学研究費補助金は完全にパラレルな関係にあるので、日本の相対的順位は下がる一方です。

## 産学連携とイノベーション

---

私は「産学連携によるイノベーションこそ鍵」と考えていますが、それぞれに阻害要因があります。

産学連携を阻害するのは、硬直した縦割社会です。2002~12年の10年間に、大学から企業への異動

は0.1%もありませんでした。

もう一つ、研究資金の流れにも壁があります。日本では政府から企業へ、企業から大学へ、外国から国内企業へ、極めて少ない資金しか流れていませんが、ドイツや中国では政府から企業へ、企業から大学へ、多くの資金が流れています。

大学等研究費の産業界負担率でも、主要7カ国で日本とフランスが最低です。産業界支出研究費の政府負担率でも日本は最低です。博士号の評価でも日本は最低です。アメリカでは学士、修士、博士と学位が上がるにつれ、生涯賃金も就業率も上がりますが、日本では変わりません。

イノベーションを阻害するのも縦割社会です。今の時代、イノベーションは単一業種の深掘りでは起こせません。縦割社会を越えるために、もっと大学を利用すべきです。

## 変革の鍵を握るのは

---

鍵を握るのは女性です。日本女性は正規雇用されても、6割が出産後に退職し、子育てが一段落してから非正規で再就職します。彼女達の退職を防ぐだけで、労働人口は131万~445万人増加します。

もう一つは若者です。名古屋大学出身のノーベル賞受賞者は現在6名いますが、彼らが受賞対象になる研究をしたのは、25~35歳の時です。研究者は若いうちが最も大切なのに、



現在 30 代の研究者はお金も定職もなく、研究に集中できません。医学研究でも「創造性は遺伝よりも後天的な体験と学習に左右される」と立証されています。若者の創造性を育てる環境作りをしていきたいです。

『イノベーションのDNA』<sup>iii</sup>では、S・ジョブズなど社会を変革した人の共通点として、①リスクを取る勇氣、②5つのスキルを挙げています。

①は、成功と失敗の確率やその際の原因を常に考えつつ、リスクを取ることです。②は、「関連づける力」「質問力」「観察力」「ネットワーク力」「実験力」です。

## 産学連携のモデル

---

### ①IMEC : Inter-university

#### Micro-Electronics Center

IMEC は、1984 年にベルギーのルーヴェン市に設立された大学附属の先端研究所で、CEO は大学教授が兼任しています。設立当初はフランダース地方政府からの補助に頼っていましたが、今や研究資金の 8 割以上を企業などからの開発委託費で賄っています。日本からも東芝、日立製作所、ソニーなどの技術者約 70 人が派遣されています。IMEC は中小企業と設備を共用し、職業訓練サービスを行うなど、中小企業の研究所の役割も果たしています。

### ②フラウンホーファー協会

1949 年、ドイツのミュンヘンに



設立された応用科学の研究機構です。予算 20 億ユーロのうち、7 割超を企業などの委託研究費で賄っています。

この協会が素晴らしいのは、大学院生を積極的に採用し、産業界のニーズに合った研究をさせ、産業界に輩出している点です。中小企業の研究所の役割も果たしています。

### ③DARPA : Defense Advanced Research Projects Agency

アメリカ国防総省の機関で、軍事技術を研究開発しています。ステルス技術、暗視技術、防空ミサイル、空中照準レーザー、無人航空機、GPS、Siri、ARPANET（インターネットの原型）など、社会を変えた発明が DARPA から生まれました。

DARPA に学びたい特徴は、(1)エンド・ゲーム・アプローチ（最終製品の想定から今すべきことを導く）、(2)フレキシブルで小回りの利く組織、(3)失敗を肯定する文化、です。

## 動き始めた産学連携

---

まず、産学間に中間組織を作りま

した。愛知県でいえば、「知の拠点あいち」の活用です。文科省が2014年に始めた「革新的イノベーション創出プログラム」(COI)にも注目しています。JST<sup>iv</sup>と産業界の対話も始まりました。

1980年代、日本は「アメリカの基礎研究にただ乗りしている」と非難されました。その後遺症で、日本は今も基礎研究に偏りすぎと思えません。資金調達のやり方を工夫することで、これを元に戻したいです。また、大学を拠点化することで、産学の研究のズレ<sup>v</sup>を修正していきたいです。

現在、18の大学がCOIの拠点です。

広島大学はマツダと連携し、車のデザインに生かすことを目的に、「わくわく感」を脳科学で分析しています。

弘前大学は県下のヘルス関連企業と連携し、「日本一の短命県」という汚名返上と医療費の抑制を目指し、コホート研究をしています。

金沢工業大学は大和ハウス工業と連携し、炭素繊維を用いて、安価で災害に強い家を研究しています。

東京藝術大学はケンウッドと連携し、歴史的芸術遺産を3Dで完全再現する研究をしています。以上のように、地方の中規模クラスの大学に独自の発想があるので、それをきちんと拾い上げていきたいです。

- i 文部科学省科学技術・学術政策局企画評価課編、日経印刷
- ii 2000～2015年間に日本の科学研究予算は1.1倍とほぼ変わらないが、ドイツは1.6倍、中国は10倍に増額させた。
- iii クリステンセン他著 櫻井祐子訳 翔泳社
- iv 講師の濱口道成先生は2015年より、JST(科学技術振興機構)の理事長である。
- v 大学は少人数による深掘なのに対し、企業は200～300人による大規模研究である点。



## PROFILE



1980年名古屋大学大学院医学研究科博士課程修了。同年名古屋大学医学部附属癌研究施設助手。1984年名古屋大学医学部附属病態制御研究施設助教授。1985年米国ロックフェラー大学分子腫瘍学講座研究員。1993年名古屋大学医学部附属病態制御研究施設教授。2005年名古屋大学大学院医学系研究科長(2009年3月まで)。2009年4月第13代名古屋大学総長(2015年3月まで)。2015年10月国立研究開発法人科学技術振興機構理事長。現在に至る。

## 七大学共通

## 報告

◎日本学士院賞受賞者が決定しました  
<http://www.japan-acad.go.jp/japanese/news/2017/031301.html>

受賞者は下記の通りです。長谷川昭氏は恩賜賞を重ねて受賞しました。

授賞式は6月12日(月)、東京・上野の日本学士院にて行われる予定です。

## 恩賜賞・日本学士院賞

長谷川昭東北大学名誉教授

**研究題目** 沈み込み帯のテクトニクスに関する地震学的研究

## 日本学士院賞

奈良澤由美城西大学現代政策学部准教授

**研究題目** 『南ガリアのキリスト教祭壇：5世紀から12世紀まで』

清水展京都大学東南アジア地域研究所教授

**研究題目** 『草の根グローバリゼーション—世界遺産棚田村の文化実践と生活戦略』

高崎史彦高エネルギー加速器研究機構名誉教授

**研究題目** B中間子系におけるCP対称性の破れの研究

荒川泰彦東京大学生産技術研究所教授、東京大学ナノ量子情報エレクトロニクス研究機構長、東京大学生産技術研究所光

電子融合研究センター長

**研究題目** 量子ドットとその光素子応用に関する研究

横堀壽光東北大学名誉教授、帝京大学客員教授

**研究題目** メゾスケール力学に基づく材料の疲労および時間依存型強度学の基礎理論とその実用に関する研究

難波成任東京大学大学院農学生命科学研究科教授

**研究題目** 植物病原性細菌ファイトプラズマに関する分子生物学的研究

戸田達史神戸大学大学院医学研究科教授

遠藤玉夫東京都健康長寿医療センター研究所副所長

**研究題目** 福山型筋ジストロフィーを含めた糖鎖合成異常症の系統的な解明と新しい糖鎖の発見(共同研究)

北村惣一郎国立循環器病研究センター名誉総長、循環器病研究振興財団理事長、医薬基盤・健康・栄養研究所プログラムディレクター、日本医療研究開発機構プログラムスーパーバイザー、奈良県立医科大学名誉教授、堺市立病院機構堺市立総合医療センター名誉理事長

**研究題目** 心臓外科新領域の開発と普及：小児冠動脈再建手術

## 北海道大学

## 告知

◎土曜市民セミナー「北大の研究最前線」  
<https://www.museum.hokudai.ac.jp/lifelongeducation/publicevents/12271/>

会場 北海道大学総合博物館1階「知の交流」

時間 13:30~15:00

参加費 無料・申込不要

開催日① 5月13日(土)

講師 新井田清信氏(北海道大学総合博物館資料部)

**演題** 「かんらん岩の山の自然と人々をつなぐ物語—アポイ岳ユネスコ世界ジオパークの地域環境教育—」

**開催日**② 6月10日(土)

**講師** 白土博樹氏(北海道大学大学院医学研究院)

**演題** がん放射線治療の最近の進歩と北

海道大学の貢献(仮)」

**開催日**③ 7月8日(土)

**講師** 千葉仁志氏(北海道大学大学院保健科学研究院)

**演題** 「体の“あぶら”の酸化と抗酸化(仮)」

**問合先** 北海道大学総合博物館 [museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp](mailto:museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp)

## 東北大学

### お知らせ

#### ◎東北大学大学院生命科学研究所入試説明会

<http://www.tohoku.ac.jp/japanese/2017/03/event20170316-01.html>

・秋田会場

**日時** 5月13日(土) 13:30~

**会場** 秋田市民交流プラザ

・東京会場

**日時** 5月13日(土) 13:30~

**会場** フクラシア品川

・弘前会場

**日時** 5月14日(日) 13:30~

**会場** 弘前市民文化交流館

・仙台会場

**日時** 5月20日(土) 10:00~

14:30~ オープンラボ(研究室見学会)

**会場** 生命科学プロジェクト総合研究棟

1階講義室(東北大学片平キャンパス)

**問合先** 生命科学研究所教務係、TEL 022-217-5706、[lif-kyom@grp.tohoku.ac.jp](mailto:lif-kyom@grp.tohoku.ac.jp)

### お知らせ

#### ◎津波の来襲状況や被害に関する動画検索システムが公開されました

<http://www.tohoku.ac.jp/japanese/2017/02/press20170210-01.html>

## 東京大学

### お知らせ

#### ◎第90回五月祭

<https://gogatsusai.jp/90/visitor/>

東北大学災害科学国際研究所では、「動画でふりかえる3.11—東日本大震災公開動画ファインダー—」を公開しました。本システムは、一般の方が当時の様子を動画情報で振り返り、どこでどのような被害があったのか、被災の状況に対して正しい知識や認識を持って頂き、さらに避難行動等につなげるためのツールとしてご活用いただけます。

#### ◎第6回サイエンス・インカレにおいて東北大学の学生が受賞

<http://www.tohoku.ac.jp/japanese/2017/03/award20170321-01.html>

文部科学省主催「第6回サイエンス・インカレ」が開催され、東北大学の学生2名が受賞しました。

・サイエンス・インカレ奨励表彰

理学部4年 藤田祐輝さん

受賞研究 「光環境変化に応答した光合成アンテナタンパク質の膜内移動の検証」(ポスター発表)

・SCREEN賞

工学部3年 村田真麻さん

受賞研究 「痛み・採血無しで手軽に測れる非侵襲血糖値センサに向けたグルコース吸光イメージング」

**開催日** 5月20日(土)・21日(日)

**会場** 東京大学本郷・弥生キャンパス

## ◎高校生のための金曜特別講座

[http://high-school.c.u-tokyo.ac.jp/lecture\\_time/2017s.html](http://high-school.c.u-tokyo.ac.jp/lecture_time/2017s.html)

※高校生以外の方も参加できます。

### 1. 未来材料：チタン・レアメタル～夢の材料チタンの将来性やレアメタルに関する問題点を解説～

**日時** 5月12日(金) 17:30～  
**会場** 東京大学教養学部 18号館ホール  
**講師** 岡部徹東京大学生産技術研究所教授・同所副所長・同所持続型エネルギー材料統合研究センター長

**参加費** 無料

**登録** 不要

**定員** 約200名(先着順)

### 2. 東大駒場ゼミ「読み破る政治学」高校生向けプレゼミナール「震災復興とは？」

**日時** 6月9日(金) 17:30～  
**会場** 東京大学教養学部 18号館ホール  
**講師** 牧原出東京大学生産科学技術研究センター教授

**参加費** 無料

**登録** 不要

**定員** 約200名(先着順)

### 3. タンパク質をデザインして産業や医療に応用する

**日時** 6月16日(金) 17:30～  
**会場** 東京大学教養学部 18号館ホール  
**講師** 新井宗仁東京大学大学院総合文化研究科准教授

**参加費** 無料

**登録** 不要

**定員** 約200名(先着順)

## 4. 社会の中の新聞

**日時** 6月23日(金) 17:30～  
**会場** 東京大学教養学部 18号館ホール  
**講師** 辻篤子元朝日新聞論説委員、東京大学教養学部客員教授、名古屋大学国際機構特任教授

**参加費** 無料

**登録** 不要

**定員** 約200名(先着順)

## ◎報告

### ◎大隅良典氏に「東京大学特別栄誉教授」の称号が授与されました

[http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/news/topics/topics\\_z0109\\_00035.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/news/topics/topics_z0109_00035.html)

2月22日(水)、東京大学駒場Iキャンパス 900番教室にて、ノーベル生理学・医学賞を受賞された、大隅良典東京工業大学栄誉教授への「東京大学特別栄誉教授」称号授与式が挙行されました。

引き続き開催された『ノーベル生理学・医学賞受賞記念学術講演会』では、ご自身の生い立ちから、オートファジー発見の経緯、現在の研究に至るまでをお話いただきました。

講演会の後、駒場コミュニケーション・プラザ南館2階にて、学部生200名との交流会が開催されました。学生達は40人、5つのグループに分かれ、大隅先生が各グループを10分ずつ回られました。学生たちは積極的に質問をし、大隅先生の話に耳を澄ませていました。

## 名古屋大学

### ◎告知

#### ◎第58回名大祭

<http://www.meidaisai.com/>

**開催日** 6月8日(木)～11日(日)

**会場** 名古屋大学東山キャンパス

#### ◎第23回名古屋大学博物館特別展 球状コンクリーションの謎－化石 永久保存のメカニズム特別講演会

<http://www.num.nagoya-u.ac.jp/event/special/2016/170314.html>

**日時①** 5月13日(土) 13:30～15:00

**演題** 「アンモナイトとコンクリーション  
ー北海道の化石ー」

**講師** 疋田吉識氏（北海道中川町エコミュージアムセンター）

**日時②** 6月17日（土） 13:30～15:00

**演題** 「火星コンクリーションの謎」

**講師** 長谷川精氏（高知大学理工学部）  
吉田英一氏（名古屋大学博物館）

**会場** 名古屋大学博物館

**参加費** 入場無料・申込不要

## ◎野外観察園セミナーハウスサテライト展示「名大キャンパスの野鳥」

<http://www.num.nagoya-u.ac.jp/event/special/2017/170403.html>

**日時** 開催中～7月7日（金）10:00～16:00

**休館日** 土・日・祝日（ただし6月10日（土）、11日（日）は開館）

**会場** 名古屋大学博物館野外観察園セミナーハウス2階

**参加費** 入場無料

## 京都大学

### お知らせ

#### ◎京都大学春秋講義

[http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/events\\_news/office/soumu/shogai/event/2016/170510\\_0910.html](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/events_news/office/soumu/shogai/event/2016/170510_0910.html)

**日時** 5月10日（水） 18:30～20:00

**会場** 京都大学百周年時計台記念館百周年記念ホール

**講師** 高木博志京都大学人文科学研究所教授  
**演題** 「近代における京都イメージの創造  
ー雅・国風・もてなしの文化」

**参加費** 無料

**定員** 500名（どなたでも参加いただけます。当日先着順）

※会場の混雑状況により、立ち見の願いまたは入場制限をさせていただく場合があります。

#### ◎「探検！ 京都大学」モバイル版

<http://www.mendoksa.pr.kyoto-u.ac.jp/>  
京都大学を深く知ってもらったり、ちょっとだけ知ってもらったりするゲーム

型サイトです。京都大学ならではの「回り道」精神の研究スタイルを、「めんどくさい」というフレーズで表現し、それが「楽しい」と思える体験を提供しています。

### お知らせ

#### ◎日本ペドロロジー学会 2017年度大会が開催されました

[http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/research/events\\_news/department/kankyougaku/news/2016/170312\\_1.html](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/research/events_news/department/kankyougaku/news/2016/170312_1.html)

和歌山県にて地球環境学堂と日本ペドロロジー学会の共催で開催されました。

3月9日（木）のワンポイントセミナー「褐色森林土を分類してみよう」には33名、10日（金）のポスターセッションおよび公開シンポジウム「紀伊半島の自然と土壌」には70名、11日（土）、12日（日）の野外巡検「紀伊半島の土壌に見る垂直成帯性」には36名が参加しました。

## 大阪大学

### お知らせ

#### ◎第12回サンメイツ・サイエンスカフェ『コンピューターの中に星を作る』

<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/seminar/2017/05/7325>

**日時** 5月6日（土） 14:00～16:00

**会場** 大東サンメイツ1階フリースペース109

**参加費** 無料：登録不要

**問合先** 理学研究科 長野八久氏

[nagano@chem.sci.osaka-u.ac.jp](mailto:nagano@chem.sci.osaka-u.ac.jp)

**主催** 大東サンメイツ専門店組合・大阪大学基礎セミナー

◎第23回動物園前サイエンスカフェ  
『大阪の来るべき地震に備える』

<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/seminar/2017/05/7326>

日時 5月13日(土) 14:00~16:00

会場 動物園前1番街イベントスペース

参加費 無料:登録不要

問合先 理学研究科 長野八久氏

nagano@chem.sci.osaka-u.ac.jp

主催 飛田本通商店街振興組合・大阪大学基礎セミナー

◎肩こりの原因とその解消法  
(Handai-Asahi 中之島塾)

<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/seminar/2017/05/7301>

日時 5月27日(土) 10:30~12:00

講師 菅本一臣大阪大学大学院医学系研究科教授

会場 大阪大学中之島センター

参加費 1,620円:要Web登録

問合先 朝日カルチャーセンター 06-6222-5224

主催 大阪大学21世紀懐徳堂、朝日カルチャーセンター

◎3.11後の原発—政治は何を決めたのか (Handai-Asahi 中之島塾)

<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/seminar/2017/06/7302>

日時 6月3日(土) 10:30~12:00

講師 上川龍之進大阪大学大学院法学研究科准教授

会場 大阪大学中之島センター

参加費 1,620円:要Web登録

問合先 朝日カルチャーセンター 06-6222-5224

主催 大阪大学21世紀懐徳堂、朝日カルチャーセンター

◎古代語の謎を解く  
(Handai-Asahi 中之島塾)

<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/seminar/2017/06/7303>

日時 6月3日(土) 13:30~15:00

講師 蜂矢真郷大阪大学名誉教授・中部大学教授

会場 大阪大学中之島センター

参加費 1,620円:要Web登録

問合先 朝日カルチャーセンター 06-6222-5224

主催 大阪大学21世紀懐徳堂、朝日カルチャーセンター

◎大阪大学吹奏楽団  
「第37回サマーコンサート」

<http://ouwo.biz/>

日時 6月10日(土) 18:00開場

会場 あましんアルカイックホール

参加費 無料

◎織田作之助の〈坂田三吉〉  
(Handai-Asahi 中之島塾)

<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/seminar/2017/06/7304>

日時 6月17日(土) 13:30~15:00

講師 斎藤理生大阪大学大学院文学研究科准教授

会場 大阪大学中之島センター

参加費 1,620円:要Web登録

問合先 朝日カルチャーセンター 06-6222-5224

主催 大阪大学21世紀懐徳堂、朝日カルチャーセンター

◎留学生の立場からの日本留学について  
考える (Handai-Asahi 中之島塾)

<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/seminar/2017/06/7305>

日時 6月24日(土) 13:30~15:00

講師 有川友子大阪大学国際教育交流センター教授

会場 大阪大学中之島センター

参加費 1,620円:要Web登録

問合先 朝日カルチャーセンター 06-6222-5224

主催 大阪大学21世紀懐徳堂、朝日カルチャーセンター

## 報 告

### ◎「大阪大学リーダーズフォーラム（東京）」が開催されました

[http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/topics/2017/02/20170217\\_02](http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/topics/2017/02/20170217_02)

2月14日（火）、学士会館にて開催され、150名を超える大阪大学、大阪外国語大学の卒業生の参加がありました。社会の各方面で活躍されるリーダー（経営者層）の方々との交流を深めることを目

的にしたイベントで、5回目となる今回は初めて東京で開催されました。西尾章治郎大阪大学総長からの近況報告に続き、柳田敏雄脳情報通信融合研究センター長の「ゆらぎでひもとく脳とAI」と題した講演では、ゆらぎが導く、人間の脳活動とAI研究の最先端について、身近な話題を取り上げながら解説をいただきました。世代や業種を超えた会となりました。

## 九州大学

## 報 告 知

### ◎九大フィル第198回定期演奏会

<http://kyudaiphil.com/concert/>

日 時 6月10日（土） 13:00 開場

会 場 アクロス福岡シンフォニーホール

参加費 全席自由1000円 ※未就学児無料

問合せ [qdaiphil@gmail.com](mailto:qdaiphil@gmail.com)

（広報）片山さん 090-5131-0043

（渉外）富永さん 090-1515-4872

### ◎高校生のための工業設計学科のデザイン講座（基礎編）

<http://www.design.kyushu-u.ac.jp/kyushu-u/topics/detail?nid=1159>

日 時 6月11日（日） 13:00～17:00

会 場 九州大学大橋キャンパス

講 師 （工業設計学科）専任教員数名で担当

参加費 無料

対象・定員 高校生20名（先着順）

申込期間 6月1日（木）まで

※申込方法は上記URLでご確認ください。

### ◎芸術工学部公開講座「SPレコード・蓄音機で聴く大正・昭和芸能文化～旅と旅情～」

<http://www.design.kyushu-u.ac.jp/kyushu-u/topics/detail?nid=1157>

日 時 5月27日（土） 15:00～17:30

会 場 九州大学大橋キャンパス  
5号館1階512講義室

講 師 大島久雄九州大学大学院芸術工学  
研究院准教授

参加費 無料：要事前申し込み（先着50名）  
詳細は左記URLでご確認ください。

## 報 告

### ◎椎木講堂音雅会2017が開催されました

<http://www.kyushu-u.ac.jp/ja/topics/view/1168>

2月19日（日）、椎木講堂コンサートホールにて開催されました。

3回目となる今回は、九大ピアノの会、九州大学邦楽部、九州大学アコースティックギターサークル unplugged、九州大学タップダンスサークルおよび九州大学アカペラサークル HarmoQ の5つの学生サークルが出演し、約400名の来場がありました。



# 同窓会案内・開催報告

## 七大学同窓会共通

### 告知

◎四大学ジョイントコンサート「歌い継ごうあしたへ2017」

【参加団体】

- ・北海道大学合唱団 OB 会
- ・九州大学コーラルアカデミー OB 合唱団 TAG
- ・東京大学音楽部 OB 合唱団アカデミカコーラル
- ・東北大学男声 OB 合唱団

【日 時】 6月11日(日) 14:00 開演

【会 場】 東北大学百周年記念会館川内萩ホール

【参加費】 1,000円全席自由

【問合先】 幹事の小松正佳さん(東北・経・昭46年卒) [masayoshi.komatsu@hotmail.co.jp](mailto:masayoshi.komatsu@hotmail.co.jp) までお願いします。

### 報告

◎巢鴨会「国会議事堂見学ツアー」が開催されました

旧七帝大系若手交流会・巢鴨会では、3月18日(土)、国会議事堂見学ツアーが開催され、衆議院の中央玄関・御休所・衆議院議場の傍聴席などを見学しました。見学の後は焼鳥屋を貸し切って交流会を行いました。次回は5月20日(土)、つくばのJAXA見学ツアーと懇親会を開催する予定です。

巢鴨会へのお問い合わせや入会お申し込みは、久保真一さんまでお願いします。

[kubo@wind.ocn.ne.jp](mailto:kubo@wind.ocn.ne.jp)

報告：久保真一さん(九大・法・平15年卒)



## 北海道大学同窓会

### 告知

◎北大東京ジンパ2017

<http://hokudai-tokyo-jinpa.com/>

【日 時】 5月20日(土) 12:30~14:30

【会 場】 昭和記念公園

詳細は、上記 URL または <https://www.facebook.com/tokyoelm/> でご確認ください。

◎北海道大学工学部同窓会第69回総会

<http://www.eng.hokudai.ac.jp/dousoukai/>

【日 時】 5月29日(月)

講演会 15:00

総 会 16:00

懇親会 17:00 (工学部食堂)

【会 場】 北大フロンティア応用科学研究棟

## 東北大学同窓会

### 告知

◎東北大学懇談会～東北大学萩友会プレミアム会員懇談会～

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/alumni/2017premium/index.html>

【日 時】 6月10日(土) 10:00～

【会 場】 東北大学百周年記念会館川内萩ホール

【参加費】 1,000円(高校生以下は無料)

※5月19日(金) 17:00までに左記URLより事前にお申し込みください。

## ◎金窓会総会

<https://www.material.tohoku.ac.jp/kinsokai/kinso.html>

**【日 時】** 6月10日(土)  
総 会 14:00~14:30  
講演会 14:30~15:00  
懇親会 15:00~17:00

**【会 場】** 学士会館 202 号室

**【講 師】** 森英介衆議院議員(自由民主党)  
(昭49年金加卒)

**【参加費】** 5,000円(予定)

※お申し込みは上記 URL でご確認ください。

## 報 告

### ◎東北大学 110 周年・関西萩友会 10 周年記念萩友会関西交流会が開催されました

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/alumni/topics17.html>

3月5日(日)、ホテルグランヴィア大阪

## 東京大学同窓会

### 告 知

#### ◎東京銀杏会総会

<http://tokyo-ichokai.com/>

**【日 時】** 5月24日(水)  
総 会 18:30~19:00  
懇親会 19:00~20:30

**【会 場】** 東京第一ホテル 5階ラ・ローズ

#### ◎東京銀杏会東大留学生と交流する会

<http://tokyo-uni-dousoukai-rengoukai.org/>

5月13日(土)は神田神社祭の見学です。留学生の参加は毎回20人~40人で同窓会ボランティアと会話を楽しみながら見学、終了後喫茶店などで懇談も行っています。ボランティアとして活動に参加をご希望の方は、田中寿徳さん [hisanori\\_tanaka1125@fides.dti.ne.jp](mailto:hisanori_tanaka1125@fides.dti.ne.jp) へご連絡ください。

にて開催され、240名の参加がありました。

東北大学里見進総長(東北大学校友会会長)より挨拶、東北大学青木孝文副学長(東北大学校友会代表理事)より東北大学校友会の活動紹介に続き、東北大学理事・大学院医学系研究科伊藤貞嘉教授が「腎臓と高血圧—何故ヒトは高血圧になるのか? 進化の宿命—」、東北大学大学院情報科学研究科田所諭教授が「災害に対応するタフ・ロボティクス—ひとりでも多くの命を救いたい!!

災害ロボットの挑戦—」と題した講演があり、その後の懇親会では、校友歌、学生歌などを斉唱しました。

関西交流会に先立ち、東北大学関西校友会および東北大学本部関係者の意見交換会が開催されました。関西校友会から18名、大学本部から里見総長はじめ9名が出席し、意見交換がなされました。また、同席上にて次回の関西交流会は、平成30年3月4日(日)ホテルグランヴィア大阪で開催する事が決定いたしました。

#### ◎関西東大会「東大出身初の落語家」 春風亭昇吉落語会

<http://blog.kansaitodaikai.main.jp/?eid=1398586>

**【日 時】** 5月20日(土) 16:00~開場  
**【会 場】** 中央電気倶楽部  
**【木戸銭】** 7,000円(懇親会費込) ご家族で参加の場合、二人目からは5,000円  
**【主 催】** 東大三鷹クラブ  
**【後 援】** 関西東大会(創立30周年記念イベント)

※申込先等詳細は上記 URL からご確認ください。

#### ◎赤門市長会

<https://www.facebook.com/events/599166276959647/>

**【日 時】** 6月6日(火) 17:30~18:30  
**【会 場】** 都市センターホテル1階アイリス

### ◎埼玉銀杏会「講話を聞く会」

<http://tokyo-uni-dousoukai-rengoukai.org/>

- 【日 時】 6月10日(土) 15:00～  
【会 場】 伊勢丹浦和店7階クローバルーム  
【講 師】 江利川毅埼玉県立大学理事長、  
埼玉銀杏会副会長、元人事院総  
裁、元内閣府事務次官、元厚生  
労働省事務次官

※講演終了後、懇親会を予定しています。

### ◎東静銀杏会総会

- 【日 時】 6月18日(日) 17:00～  
【会 場】 沼津リバーサイドホテル

### ◎鎌倉淡青会総会

<http://tokyo-uni-dousoukai-rengoukai.org/>

- 【日 時】 6月24日(土)  
【会 場】 銀座アスター鎌倉寶館  
【講 師】 濱田純一東京大学前総長

### ◎神奈川銀杏会「三火会」

<http://tokyo-uni-dousoukai-rengoukai.org/>

- 【日時①】 5月16日(火)  
7:00～9:00頃まで  
【講 師】 林纈治氏(東・理・昭40年卒)  
【演 題】 「ヒトの身体はどのようにできる(仮)」  
【日時②】 6月20日(火)  
7:00～9:00頃まで

## 名古屋大学同窓会

### 告 知

### ◎第10回東山会関東支部総会

<http://www.higashiyamakai-kanto.com/soukai10.html>

- 【日 時】 5月13日(土) 13:00～  
【会 場】 学士会館  
【特別講演】 松尾清一名古屋大学総長  
【演 題】 「名古屋大学の現状と未来—NU  
MIRAI 2020について—」  
【参加費】 関東地区大学院学生 1,000円  
学部 H18年以降卒 5,000円  
上記以外 8,000円

【講 師】 赤石慎一氏(東・法・昭34年卒)

【演 題】 「不都合な現実」

【会 場】 横浜プラザホテル14階レスト  
ラン『ル・ファール』

【参加費】 1,500円(朝食代)

【申込先】 幹事の浅沼さんへ。

[tomo-asanuma@mqi.biglobe.ne.jp](mailto:tomo-asanuma@mqi.biglobe.ne.jp)

### 報 告

### ◎第15回東大若手懇親会が開催されました

2月25日(土)、「燻製 GRILL 日比谷 BAR WHISKY-S III」にて、様々な学部・研究科出身の20代後半～40代16名が参加し、ビジネスや専門的な話題など多岐にわたる話をしながら親睦を深めました。東大若手懇親会に参加ご希望の方は幹事の西澤正浩さんへメール [u.tokyo.wakatekai@gmail.com](mailto:u.tokyo.wakatekai@gmail.com) でご連絡ください。

※イベントは原則 Facebook のグループページで告知します。

<https://www.facebook.com/groups/yoalut/>

時間が経っても入会申請が承認されない場合は、西澤さんへメールでご連絡ください。  
報告：西澤正浩さん(東・学術修・平17年卒)

### ◎名古屋大学全学同窓会関西支部第12回総会・懇親会

<https://www.nual.nagoya-u.ac.jp/>

- 【日 時】 5月20日(土) 14:00～19:00  
【会 場】 中央電気倶楽部  
【講 師】 二村幸基氏(三菱重工業(株)  
執行役員フェロー防衛・宇宙ド  
メイン技師長)  
【演 題】 未定  
【問合せ先】 関西支部脇田喜智夫事務局長/御  
所南法律事務所、TEL 075-253-

0777、[office@goshominami.jp](mailto:office@goshominami.jp)

◎名大応化会東日本支部総会・講演会・懇親会

<http://oukakai.apchem.nagoya-u.ac.jp/>

【日時】 6月3日(土) 13:00~

【会場】 学士会館

【講師】 日本化学会山本尚会長

【演題】 「破壊的イノベーションと触媒化学—日本の強みと弱み—」

【参加費】 6,000円

※申し込み等の詳細は上記URLでご確認ください。

◎名大遠州会第22回同窓会

<https://www.nual.nagoya-u.ac.jp/>

【日時】 6月10日(土) 18:00~

【会場】 オークラアクトシティホテル浜松

【問合先】 遠州会原田憲道事務局長  
ensuhurd@yahoo.co.jp

◎名古屋大学農学部卒業50周年記念祝賀会・第46回農学部談話会および農学部同窓会総会

<http://www.agr.nagoya-u.ac.jp/~dosokai/>

【開催日】 6月10日(土)

・農学部卒業50周年記念祝賀会兼第46回農学部談話会 11:00~

【会場】 名古屋大学農学部大会議室

【参加費】 2,000円

※卒業50周年の方は無料

・農学部同窓会総会・講演会

14:00~16:00

【会場】 名古屋大学農学部第3講義室

・農学部同窓会懇親会 16:30~18:30

【会場】 名古屋大学内「花の木」

【参加費】 1,000円

◎名古屋大学医学部学友会首都圏支部総会

<https://www.nual.nagoya-u.ac.jp/>

【日時】 7月8日(土) 16:00~

【会場】 学士会館

【参加費】 12,000円

【問合先】 医学部学友会首都圏支部 松田達男支部長、090-9206-0567、  
matudatatu@gmail.com

## 京都大学同窓会

### 告知

◎京都大学経済学部同窓会東京支部総会

【日時】 5月13日(土)

【会場】 学士会館

【問合先】 京都大学経済学部同窓会事務局  
TEL 075-753-3419

### 報告

◎京都大学地域講演会(静岡講演会)および京友会が開催されました

[http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/events\\_news/office/soumu/shogai/news/2016/170204\\_1.html](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/events_news/office/soumu/shogai/news/2016/170204_1.html)

2月4日(土)、ニッセイ静岡駅前ビルにおいて開催され、169名の参加がありました。

京都大学経済学研究科岩本武和教授が「世界金融危機後のグローバルマネーの行方

—おかねの流れから見る世界経済」と題した講演を行い、講演の後には、京都大学徳賀芳弘副学長と岩本教授による対談および質疑応答を行いました。

講演会終了後、同市内のホテルにおいて、静岡で同窓会活動をしている京友会が開催され、65名の参加がありました。

◎タイで京都大学国際シンポジウムが開催されました

[http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/international/events\\_news/department/bussitsu\\_saibou/news/2016/170204\\_1.html](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/international/events_news/department/bussitsu_saibou/news/2016/170204_1.html)

京都大学とタイ王国の共同研究機関との連携を拡張し、協力体制の多様化と強化を図ることを目的に、バンコクとラヨーン県で「物質—細胞統合システム拠点(iCeMS)」の主催で開催されました。

2月2日(木)のシンポジウムは、ラオーン県のウィタヤシリメティ-科学技術大学院大学(VISTEC)にて開催され、約200名が参加し、「持続可能な将来のための物質材料」をテーマに研究発表が行われました。

4日(土)は会場をバンコクに移し、午前の部では、「サステナビリティ」をキーワードに研究の国際化、人材育成、研究成果の社会実装に関する発表が行われ、山極壽一京都大学総長も「世界自然遺産と生物多様性」と題して基調講演を行いました。午後

の部は、第5回東南アジアネットワークフォーラム/第23回東南アジアフォーラムの共同開催で、高齢化社会を切り口にさまざまな視点から研究発表が行われ、当初の予定を大幅に上回る約190名が参加しました。

終了後のレセプションは、京都大学同窓会を兼ねて、京都ユニオンクラブ(KUC・京都大学タイ人同窓会)と百万遍会(在タイ京都大学日本人同窓会)が共催に加わり、約130名が参加。タイにおける京都大学卒業生の交流を一層深める機会となりました。

## 大阪大学同窓会

### 告 知

#### ◎6月～7月に開催予定の総会

詳細は各同窓会の公式サイトで順次お知らせします

・工業会総会(工学部・工学研究科同窓会)

<http://www.osaka-u.info/>

【開催日】6月12日(月)

【会場】ヴィアーレ大阪

・経済学部同窓会総会

<http://machikaneyama.jp/>

【開催日】7月1日(土)

【会場】リーガロイヤルホテル(大阪)

・青雲会総会(法学部同窓会)

<http://www.seiunkai.net/>

【開催日】7月15日(土)

【会場】大阪新阪急ホテル2階「紫の間」

・香川いちよう会(香川県内の大阪大学卒業生の会)

<http://kgwichou.web.fc2.com/index.html>

【開催日】7月23日(日)

【会場】JRホテルクレメント高松

#### ◎大阪大学工業会東京支部総会

<http://www.osaka-u.info/branch/tokyo.html>

【日時】5月27日(土) 15:00～

【会場】学士会館202号室

※詳細は大阪大学工業会へお問い合わせください。

[okc-net@okc.eng.osaka-u.ac.jp](mailto:okc-net@okc.eng.osaka-u.ac.jp)

#### ◎東京待兼会春季懇話会

<http://www.geocities.jp/tokyomachikanekai/>

【日時】5月31日(水)

講演会 18:00～ 懇親会 19:20～

【会場】学士会館302号室

【講師】白井正樹大阪大学大学院経済学研究科講師

【演題】「日本経済の再生に向けて～アベノミクスをどう評価し、見直すべきか」

【参加費】6,000円(講演会のみ1,000円)

【申込先】東京待兼会

[tokyomachikanekai@yahoo.co.jp](mailto:tokyomachikanekai@yahoo.co.jp)

### 報 告

#### ◎「大阪大学 ASEAN センター開所10周年記念の会」、「タイ同窓会」が開催されました

[http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/topics/2017/02/20170224\\_01](http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/topics/2017/02/20170224_01)

2月18日(土)、バンコクのホテル Radisson Blu Plaza Bangkok にて開催され、74名の参加がありました。

Itthichai Arungsrisangchai 大阪大学タイ同窓会長、阪本紀子大阪大学外国語学部・大阪外国語大学同窓会「咲耶会」バンコク支部副会長及び山中伸代理事・副学長の挨拶に続き、望月太郎 ASEAN センター長が、大阪大学 ASEAN センターの10年を振り返る記念講演を行いました。

大阪大学タイ同窓会は2006年に設立。毎年同窓会が開催されており、参加者同士で親しく懇談を続けています。

### ◎第41回「和歌山阪大会」が開催されました

1月28日(土)、ホテルアバローム紀の国にて開催され、約80名のOB・OGの参加がありました。

小畑英三和歌山阪大会長より、「府県単位の大阪大学同窓会の中では歴史が最も古く、若い世代の卒業生も気軽に参加できるのがこの会の良さ」との挨拶がありました。

懇談会では、仁坂吉伸和歌山県知事、荒竹宏之和歌山市副市長(市長代理)、瀧寛和和歌山大学長らも出席され、西尾章治郎大阪大学総長とともに卒業生と歓談しました。

## 九州大学同窓会

### 告知

#### ◎平成29年度九大薬友会関東支部総会・講演会・懇親会

<http://kyushu-yakuyu-kanto.la.coocan.jp/framepageQ89-soukaiannai17.html>

【日時】 5月21日(日)  
総会 10:30~11:00  
講演会 11:00~13:00  
懇親会 13:10~14:45

【会場】 学生会館202号室

【講演会参加費】 500円

【懇親会参加費】 5,500円

※3月卒業生および在校生は無料

【問合先】 九大薬友会関東支部事務局  
[yakuyukanto@gmail.com](mailto:yakuyukanto@gmail.com)

#### ◎九州大学経済学部同窓会福岡支部主催第62回交流ゴルフ会

[https://koyukai.kyushu-u.ac.jp/alumni/4/association\\_events/detail/318](https://koyukai.kyushu-u.ac.jp/alumni/4/association_events/detail/318)

【開催日】 5月14日(日) (集合7:30)

【会場】 伊都ゴルフ倶楽部

【料金】 13,500円(昼食、キャディ、カート、税込)

【参加費】 3,000円

※参加ご希望の方は上記URLからお申し込みください。

#### ◎九大囲碁部OB会松原会

[http://koyukai.kyushu-u.ac.jp/alumni/191/association\\_news/detail/672](http://koyukai.kyushu-u.ac.jp/alumni/191/association_news/detail/672)

### 〈定例会〉

【日時】 毎月第2土曜日 13:00~

【会場】 はかた駅囲碁広場

### 〈合宿〉

【日時】 8月18日(金)~20日(日)

【会場】 未定

【連絡先】 幹事の松田崇裕さん  
[takamatsuda@sco.bbq.jp](mailto:takamatsuda@sco.bbq.jp)

### 報告

#### ◎九州大学同窓会連合会総会・懇親会が開催されました

[http://koyukai.kyushu-u.ac.jp/alumni/101/association\\_news/detail/689](http://koyukai.kyushu-u.ac.jp/alumni/101/association_news/detail/689)

3月8日(水)、伊都キャンパス稲盛財団記念館にて開催され、国内外から31名の出席がありました。

久保千春九州大学総長(九州大学同窓会連合会長)の進行により、役員交代、平成28年度事業報告・収支決算、平成29年度事業計画・収支予算(案)等について審議・承認され、九州大学カードや古本募金など、新しい取組みが報告されました。

懇親会では、藏原一郎副会長(愛媛同窓会会長、医・昭29年卒)の乾杯ご発声の後、歓談しました。最後に、男声合唱団コールアカデミーによって新録された「松原に」を音源に合わせて全員合唱し、閉会となりました。

総会に先立ち、中国、韓国、タイ、台湾の4同窓会の同窓生が招かれ、伊都キャンパスツアーや総長・理事との懇談会が実施されました。

# 会 員 通 信

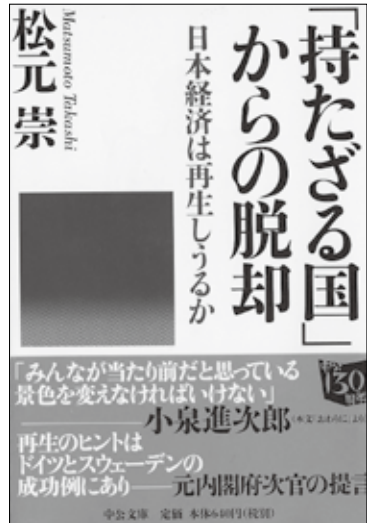
## 会員著作物紹介

### 『「持たざる国」からの脱却』

(中央公論新社)

世界の生産構造の激変に適応しかねている日本が、今後成長していくための戦略を描き出した本。経済を成長させるのは人だとの原点から、IT化の進展によって仕事が激変するようになった時代には、人々が再チャレンジするのを支える新たな教育や社会保障制度の仕組みが必要。ワーク・ライフ・バランスが取れた職場での能力発揮が個人の幸せにも国の発展にもつながるとしている。著者の内閣府経済財政担当時代の思索内容の集大成。

(松元崇 会員 東大・法・昭51)



### 『病気になるない！ 生姜ココア健康法』

(サンマーク出版)



20年間にわたる生姜の研究と数千件に及ぶ生姜に関する論文から、生姜の健康効果のすごさ、生姜とココアの相乗効果について紹介しています。『生姜ココア』習慣は、高血圧、高血糖、脂質（中性脂肪・コレステロール）異常、認知症、がん、自律神経失調症、冷え性、花粉症などを遠ざけてくれます。その摂り方は小さじ1杯の純ココアを200mlのお湯で溶かし、すりおろした生姜を小さじ1杯入れるだけ。ぜひ、試してみてください。

(平柳要 会員 東大・医博・昭61)

## 『たばこの日本史・七話一伝来から専売制度の終焉まで』 (文藝春秋企画出版部)

たばこの喫煙は古代マヤ文明を起源とし、コロンブスのアメリカ発見を契機に世界に伝播しました。当時は、経済史家ティモシー・ブルックが『フェルメールの帽子』(本野英一訳・岩波書店)で指摘しているように銀が東西交易の主役で、南蛮・紅毛の人々が銀を求めて来日し、たばこが伝わりました。鳥根・石見、秋田・院内銀山で喫煙がいち早く普及し課税された史実を第一話とし、以後400余年の歴史から七つの話を取り上げました。

(菊間敏夫 会員 東大・経・昭34)



## 『人間性と経済学 —社会科学の新しいパラダイムをめざして—』(日本評論社)

### 人間性と経済学

社会科学の新しいパラダイムをめざして



慶應義塾大学名誉教授  
岡部光明

日本評論社

主流派の経済学は、人間について比較的単純な前提(利己的・合理的に行動する)を置くことによって理論の精緻化、体系化を進めてきた。

しかし、人間の行動をみると、利己的動機のほか利他的動機もあり、また自律性、自己実現、人間の絆なども重要であることが他の学問領域の研究から明らかになっている。本書は、人間に関する従来の仮定を拡張することによって新しい社会科学を構想することを試みた研究書である。著者は慶応義塾大学名誉教授。

(岡部光明 会員 東大・経・昭43)



## 『山田方谷の夢』

(明德出版社)

2015年ノーベル賞を受賞した大村智教授の座右の銘は山田方谷の「至誠惻怛」。方谷は幕末に岡山県で生まれ貧乏な藩を7大改革により7年で裕福な藩にした。

方谷を軸に、近藤勇新撰組組長の養子となり近藤周平と名前を改めた谷昌武と岡山県初の女学校を設立した福西志計子との恋愛を絡ませた小説。素人の本にしては面白いと大評判。橋本徹日本政策投資銀行相談役、大橋洋治全日空相談役も感動。

(野島透 会員 東大・経・昭60)



## 『宇宙はなぜ「暗い」のか？

—オルバースのパラドックスと宇宙の姿』

(ベレ出版)



夜が暗い理由として「太陽が沈んでいるから」という回答では不十分です。なぜなら、もし無限に広い宇宙の中で星が永遠に輝いているとしたら、夜空は星の光で明るくなってしまふからです。これを「オルバースのパラドックス」と言います。

本書は、この「オルバースのパラドックス」の謎解きをしながら、前提知識なしでも、宇宙や天文について基礎から学べるような構成となっています。

(津村耕司 会員 東大・理博・理修・東北大・理・平17)

## 会員活動報告

### 学士会探秀会 総会と第七回見学会の開催

学士会探秀会では、2月16日（木）に学士会館で定時総会を開催し、前年度の事業活動報告、収支決算報告や会則の一部変更が行われ、次いで齋藤翁氏の講演「江戸城天守閣の再建」が実施されました。その後、紅樓夢で昼食懇親会が開かれ親睦を深めました。

また4月5日（水）には第七回見学会として文京区白山所在の「小石川植物園」の見学を実施しました。同園は1684年創設の「小石川御薬園」を起源とし、熱帯・亜熱帯の植生を含め多種多様の植物を生育していますが、園長の呂田仁教授のご案内で興味深く見学を行いました。

次回は、第八回見学会として6月24日（土）に横浜市港北区所在の「帝



総会後の懇親会にて

国海軍聯合艦隊司令部地下施設」を見学する予定です。

入会のご相談は学士会会員支援課まで（平日9:00-17:00 03-3292-5932）。

（川口順啓 会員 東大・法・昭32）

## 会員通信

## 原稿募集のご案内

会員通信の原稿を募集しています。たくさんのご投稿をお待ちしています。

会員著作物紹介	会員ギャラリー	会員活動報告	会員の声
『NU7』・学士会館展示連動企画 著作名・著作者・紹介文 (200字以内)・著作物表 紙写真をお送りください。	絵画・生け花・陶器など の作品写真をお送りくだ さい(最大3点まで)。	会員同士の交流やイベン トの報告内容(200字以 内)・写真(1~2点)を お送りください。	テーマは自由、800字以内 (写真掲載希望の場合、写 真は1点・600字以内)に まとめて、お送りください。

投稿に  
あたって

氏名・会員番号（又は、出身大学・学部・卒年）を明記の上、広報渉外課までメールにてお送りください。

送付先  
koho@gakushikai.or.jp

※投稿の受信確認及び、掲載可否の連絡はいたしません。  
 ※掲載作品・掲載時期は『NU7』編集委員会で決定します。選考に関する質問にはお答えできません。  
 ※誌面の都合上、編集させていただく場合がございます。  
 ※原稿（データを含む）は原則として返却いたしません。  
 ※政治・宗教・団体や個人への毀誉褒貶に関わる投稿は受け付けできません。また、差別表現などは修正させていただく場合がございます。  
 ※掲載作品の著作権は、本会に帰属します。  
 ※詳細は、お問い合わせください。

告知

学士会主催



夕食会・午餐会 (2017年  
5月～7月)

[場所] 学士会館

[参加費] 4,000円 (講演のみ 2,000円)

◎**夕食会** (18:00～食事/18:50～講演/19:50～質疑応答)

5月は休会です。

6月9日(金) 遠藤 乾氏 (北海道大学大学院法学研究科・公共政策大学院教授)

「EUはどこに向かうのか」

1989年北海道大学法学部卒業。1991年北海道大学大学院法学研究科修士課程修了。ベルギー・カトリック・ルーヴァン大学 MA、オックスフォード大学政治学博士号取得。北海道大学講師・助教授を経て2006年より現職。

7月10日(月) 渡部 潤一氏 (国立天文台副台長)

「続々見つかる『第二の地球』候補—地球外生命発見への期待—」

1983年東京大学理学部卒業。1985年東京大学大学院理学系研究科修士課程修了。1988年理学博士(東京大学)。国立天文台助教授や広報室長、天文情報センター長を経て、2010年教授。2012年より現職。

◎**午餐会** (12:30～食事/13:20～講演/14:20～質疑応答)

5月22日(月) 春日 雅人氏 (国立研究開発法人国立国際医療研究センター理事長・総長)

「糖尿病の発症予防と最新治療」

1973年東京大学医学部卒業。1990年神戸大学医学部教授。神戸大学医学部附属病院長、国立国際医療研究センター理事・研究所長、糖尿病研究センター長を経て、2012年より現職。

6月20日(火) 平岩 弓枝氏 (作家・脚本家)

「恩師 長谷川伸先生から学んだこと」

1955年日本女子大学文学部卒業。1959年『藝師』で直木賞受賞。1973年『御宿かわせみ』を発表。1997年紫綬褒章。1998年菊池寛賞。2004年文化功労者。2016年文化勲章。

7月20日(木) 小松 浩氏 (毎日新聞社主筆)

「トランプ政権半年総括」

1973年早稲田大学政治経済学部中退後、毎日新聞社入社。政治部、ワシントン支局、欧州総局長兼ロンドン支局長、政治部長、編集局次長、論説副委員長を経て、2013年論説委員長。2016年より現職。

詳細は、学士会公式サイトまたは事業課まで。

TEL : 03-3292-5955 (平日9:00～17:00) MAIL : koenkai-info@gakushikai.or.jp

告知



## 『學士會會報』924号(2017年5月発行)のご案内

2017年5月1日発行の『學士會會報』924号は、下記の内容を掲載しています。

### ■講演録■

「KAGRAプロジェクトと重力波天文学」(2016年11月午餐会)

梶田 隆章氏(東京大学宇宙線研究所長・東京大学特別荣誉教授)

「国立大学の今とこれから」(2017年1月午餐会)

里見 進氏(国立大学協会会長・東北大学総長)

「西洋名画の楽しみ方」(2016年11月夕食会)

中野 京子氏(作家・独文学者)

### ■連載■

「遺跡を尋ねて」 <第3回> 藤尾 慎一郎氏(国立歴史民俗博物館教授)

告知

学士会主催



## 第13回女性会

13:00~16:00

[場 所] 学士会館1階「Latin」

[参加費] 5,000円

### 2017年5月20日(土)「メイクセラピー講座」

女性にとって「自分に似合うメイクを見つけること」は、永遠のテーマではないでしょうか?

今回の講座では、お持ちのメイク道具を使用し、自分をより引き立てる“カラー”とメイクの“コツ”について、個別にご指導いただきます。限定6名の講座となります。ご興味をお持ちの方は、お早めにお申し込みください。

詳細は、学士会公式サイトまたは広報渉外課まで。

TEL: 03-3292-5950 (平日9:00~17:00)

MAIL: woman@gakushikai.or.jp

告知

学士会主催



## 土曜(日曜)カフェ

15:00~

[場 所] 学士会館

[参加費] 1,000円

### 2017年5月27日(土) / 6月25日(日)

毎月最終土曜日(日曜日)に42歳までの会員を対象に、少人数での“カタリバ”土曜(日曜)カフェを開催中です。読書会も行っています。

詳細は、学士会公式サイトまたは会員支援課まで。

話し合いのテーマも大募集中!

TEL: 03-3292-5932 (平日9:00~17:00)

MAIL: contact@gakushikai.or.jp



告知 学士会主催



## 第29回関西茶話会

14:30～講演  
15:30～懇親会(立食)

[場 所] 中央電気倶楽部  
[参加費] 3,000 円

2017年6月17日(土) 金水 敏氏 (大阪大学大学院文学研究科教授)

### 「大阪弁の歴史とイメージ形成—役割語の観点から—」

1956年、大阪生まれ。東京大学大学院修了。博士(文学)。専門は日本語文法史および役割語・キャラクター言語の研究。2006年、『日本語存在表現の歴史』で新村出賞受賞。他にも『ヴァーチャル日本語 役割語の謎』『コレモ日本語アルカ?偉人のことばが生まれるとき』『〈役割語〉小辞典』など著書多数。



詳細は、学士会公式サイトまたは関西事務所まで。

TEL: 075-771-1191 (土日祝月除く 10:00～16:00)

MAIL: kansai-info@gakushikai.or.jp

告知 学士会主催



## 「ウェルカムパーティー」

※時間は未定です

[場 所] 学士会館

2017年7月29日(土)

今春七大学をご卒業・ご修了され、学士会に入会された方をご招待し、学士会の若手会員と一緒に交流するパーティーです。新卒新入会の皆様、どうぞご予定ください。



昨年のパーティーの様子

6月1日(木)より申込受付を開始します。

詳細は、学士会公式サイトまたは会員支援課まで。

TEL: 03-3292-5932 (平日9:00～17:00)

MAIL: contact@gakushikai.or.jp

報告



学士会主催 東北大学・東北大学校友会共催

## 「東北講演会」開催報告

[場 所] 東北大学 片平さくらホール

2017年2月4日(土) 山折 哲雄氏 (宗教学者)

### 「我が死生観」

年末に体調を崩したが、この会に間に合うよう手術・退院をしてきたという衝撃告白から始まった講演は、死と自然に向き合うことの重要性について言及しました。



山折哲雄氏



満員の講演会会場

講演録は、7月1日発行の『NU7』No.12に掲載予定です。



学士会主催

## 「夜の水族館貸切パーティー」開催報告

[場 所]  
サンシャイン水族館

2017年2月12日(日) 19:00～21:00

独身会員の交流を目的としたイベントを、池袋のサンシャイン水族館を借り切り開催しました。定員を超える55名(23歳～45歳)の参加者が交流を図り、イベント最後に行った「好印象マッチング」では、見事6組がマッチング成立となりました。



学士会・学士会館共催

## 「親と子が共に参加する良縁講座 第2弾」開催報告

[場 所] 学士会館

2017年3月5日(日) 14:00～17:00

結婚を希望されているお子様とその親御様が同席し、参加者同士で交流を図る良縁イベントの2回目を開催(参加:男性側・女性側ともに11組)しました。

交流時間だけでは物足りず、次の約束をするご家族の姿がいくつか見受けられました。



学士会・九州学士会主催 九州大学・九州大学同窓会連合会後援

## 「九州講演会」開催報告

[場 所] 九州大学 西新プラザ

2017年3月18日(土) 森田 浩介氏 (九州大学大学院理学研究院教授)

### 「113番新元素『ニホニウム』発見」

2016年度最後の地域講演会となる「九州講演会」は“時の人”の講演ということもあり、定員を大きく上回る166名の参加がありました。

講師の森田浩介氏には、発見までの苦難の道程と、さらなる意欲を語っていただきました。

講演録は、9月1日発行の『NU7』No.13に掲載予定です。



森田浩介氏



講演会の様子



講師と参加者の懇親



報告 学生会主催

## 「第27回関西茶話会」開催報告

[場 所] 中央電気倶楽部

2017年2月18日(土) 中村 哲氏 (奈良先端科学技術大学院大学教授)

### 「言語の壁を超える音声言語コミュニケーション研究の現状と今後」

音声翻訳・多言語翻訳の歴史やメカニズム、現在までのシステムの評価から、2020年東京オリンピックで自動多言語音声翻訳システムを実現する為の課題までを、講師の中村氏にお話いただきました。

講演録は、7月1日発行の『NU7』No.12に掲載予定です。



報告 学生会主催

## 「第12回女性会」開催報告

[場 所] 学生会館

2017年2月25日(土) 10:00～14:00 (ランチ時間含む)

### 「目指せ表情美人! ——顔ヨガ教室——」

学生会女性会員を対象に、マスコミでも話題の「顔ヨガ」教室を開催しました。正面を向いた顔が現在の“自分”の顔だとすると、上を向いた顔が10年前の“自分”、下を向いた顔が10年後の“自分”とのこと。それぞれ鏡で確認後、10年前の“自分”を目指し、表情筋や体の筋肉を柔らかくするストレッチなどを行いました。



報 告



## 「新島襄先生生誕之地」碑前祭が行われました

2017年2月12日(日) 10:45～11:15 (11:30～13:00 講演会)

新島襄の誕生日である2月12日(旧暦1月14日)、学生会館敷地内にある「新島襄先生生誕之地」碑の前で、学校法人同志社主催による「新島襄先生生誕之地」碑前祭が行われました。

碑前祭後には、千代田区近辺の小学生を招待した講演会「江戸の寺子屋教育に学ぶ」も開催され、寺子屋クイズで会場は大いに盛り上がりました。



# 七大学 卒業式 の 情景

## 北海道大学

平成29年  
3月23日(木)  
(札幌キャンパス)



### 式典会場

【札幌キャンパス】  
北海道大学第一体育館、  
第二体育館、  
【函館キャンパス】

フォーポイントバイシエラトン函館  
(旧 ロワジュールホテル函館)

平成29年  
3月24日(金)  
(函館キャンパス)

学部卒業生数 2,468名  
大学院修了生数 1,624名

## 名古屋大学

平成29年  
3月27日  
(月)



### 式典会場

名古屋大学豊田講堂

学部卒業生数 2,172名  
大学院修了生数 1,887名

## 京都大学

大学院学位授与式  
平成29年  
3月23日(木)

学部卒業式  
平成29年  
3月24日(金)



### 式典会場

京都市勤業館  
みやこめっせ

学部卒業生数 2,888名  
大学院修了生数 3,024名



# 東北大学



平成 29 年  
3 月 24 日  
(金)



式典会場

カメイアリーナ仙台  
(仙台市体育館)

学部卒業生数 2,439 名  
大学院修了生数 2,173 名

# 東京大学

大学院学位記授与式  
平成 29 年  
3 月 23 日 (木)

学部卒業式  
平成 29 年  
3 月 24 日 (金)



式典会場

東京大学安田講堂

学部卒業生数 3,080 名  
大学院修了生数 4,398 名

# 大阪大学

平成 29 年  
3 月 22 日  
(水)



式典会場

大阪城ホール

学部卒業生数 3,369 名  
大学院修了生数 2,625 名



# 九州大学

平成 29 年  
3 月 24 日  
(金)



式典会場

九州大学伊都キャンパス  
椎木講堂

学部卒業生数 2,551 名  
大学院修了生数 2,247 名





# 七大学書籍ランキング

# BEST 5

期間：2017年3月1日～2017年3月31日

## 北海道大学生協 書籍部 Clark

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 火花	又吉直樹	文藝春秋
	2 旅猫リポート	有川浩	講談社
	3 応仁の乱	呉座勇一	中央公論新社
	4 憲法改正とは何だろうか	高見勝利	岩波書店
	5 アレフ	J. L. ボルヘス	岩波書店
一般書	1 騎士団長殺し 第1部	村上春樹	新潮社
	2 騎士団長殺し 第2部	村上春樹	新潮社
	3 伝わるデザインの基本 増補改訂版	高橋佑磨・片山なつ(著)	技術評論社
	4 羊と銅の森	宮下奈都	文藝春秋
	5 「原因と結果」の経済学	中室牧子・津川友介(著)	ダイヤモンド社



## 東北大学生協 書籍部 文系店

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 帝国大学	天野郁夫	中央公論新社
	2 闇ウェブ	セキュリティ集団スプラウト	文藝春秋
	3 組織の限界	ケネス・J・アロー	筑摩書房
	4 プロテスタンティズム	深井智朗	中央公論新社
	5 カント入門講義	富田恭彦	筑摩書房
一般書	1 日本史のライブラリー	東京法令出版教育出版部(編)	東京法令出版
	2 ネーデルラント美術の光輝	尾崎彰宏・今井潤子・寺門臨太郎・廣川曉生・吉野純子(著)	ありな書房
	3 騎士団長殺し 第1部	村上春樹	新潮社
	4 ダメな統計学	アレックス・ラインハート	勁草書房
	5 騎士団長殺し 第2部	村上春樹	新潮社



## 東京大学生協 本郷書籍部

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 モラルの起源	亀田達也	岩波書店
	2 日本の近代とは何であったか	三谷太一郎	岩波書店
	3 ビブリア古書堂の事件手帖 7	三上延	KADOKAWA
	4 帝国大学	天野郁夫	中央公論新社
	5 思考の整理学	外山滋比古	筑摩書房
一般書	1 騎士団長殺し 第1部	村上春樹	新潮社
	2 騎士団長殺し 第2部	村上春樹	新潮社
	3 ゼロから作る Deep Learning	斎藤康毅	オライリー・ジャパン
	4 ダメな統計学	アレックス・ラインハート	勁草書房
	5 公務員試験速攻の時事 平成29年度試験完全対応	資格試験研究会(編)	実務教育出版

## 名古屋大学生協 書籍部 BOOKS フロンテ

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1  ビブリア古書堂の事件手帖 7	三上延	KADOKAWA
	2 火花	又吉直樹	文藝春秋
	3 理科系の作文技術	木下是雄	中央公論新社
	4 名古屋はヤバイ	矢野新一	ワニブックス
	5 目に見える世界は幻想か？	松原隆彦	光文社
一般書	1  公式 TOEIC® Listening & Reading 問題集 2	Educational Testing Service	国際ビジネスコミュニケーション協会
	2 就職四季報 総合版 2018 年版	東洋経済新報社 (編)	東洋経済新報社
	3 ゼロから作る Deep Learning	斎藤康毅	オライリー・ジャパン
	4 騎士団長殺し 第1部	村上春樹	新潮社
	5 生命科学で使えるはじめての数理モデルとシミュレーション	鈴木貴・久保田浩行 (編)	羊土社

## 京都大学生協 BOOK センタールネ

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1  応仁の乱	呉座勇一	中央公論新社
	2 僕たちが何者でもなかった頃の話をしよう	山中伸弥・羽生善治・是枝裕和・山橋壽一・永田和宏	文藝春秋
	3 夜は短し歩けよ乙女	森見登美彦	KADOKAWA
	4 火花	又吉直樹	文藝春秋
	5 四畳半神話大系	森見登美彦	KADOKAWA
一般書	1  騎士団長殺し 第1部	村上春樹	新潮社
	2 騎士団長殺し 第2部	村上春樹	新潮社
	3 TOEIC® テスト公式問題集	Educational Testing Service	国際ビジネスコミュニケーション協会
	4 公式 TOEIC® Listening & Reading 問題集 1	Educational Testing Service	国際ビジネスコミュニケーション協会
	5 公式 TOEIC® Listening & Reading 問題集 2	Educational Testing Service	国際ビジネスコミュニケーション協会

## 大阪大学生協 書籍部 豊中店

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1  応仁の乱	呉座勇一	中央公論新社
	2 プロテスタンティズム	深井智朗	中央公論新社
	3 ルポ トランプ王国	金成隆一	岩波書店
	4 LGBT を読みとく	森山至貴	筑摩書房
	5 チューリングの大聖堂 上	ジョージ・ダイソン	早川書房
一般書	1  騎士団長殺し 第1部 第2部	村上春樹	新潮社
	2 「原因と結果」の経済学	中室牧子	ダイヤモンド社
	3 やり抜く力	アンジェラ・ダックワース	ダイヤモンド社
	4 量子コンピュータが人工知能を加速する	西森秀稔・大関真之 (著)	日経 BP 社
	5 主体の論理・概念の倫理	上野修・米虫正巳・近藤和敬 (編)	以文社

## 九州大学生協 文系購買書店

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1  帝国大学	天野郁夫	中央公論新社
	2 不平等を考える	齋藤純一	筑摩書房
	3 裁判の非情と人情	原田國男	岩波書店
	4 組織の限界	ケネス・J・アロー	筑摩書房
	5 日本の近代とは何であったか	三谷太一郎	岩波書店
一般書	1  基本憲法 I	木下智史・伊藤建 (著)	日本評論社
	2 法を学ぶ人のための文章作法	井田良・佐渡島紗織・山野日章夫 (著)	有斐閣
	3 質的社会調査の方法	岸政彦・石岡文昇・丸山里美 (著)	有斐閣
	4 決断科学のすすめ	矢原徹一	文一総合出版
	5 ダメな統計学	アレックス・ラインハート	勁草書房

今年は夏目漱石生誕百五十周年に当たる。昨年は没後百周年ということで、「吾輩ハ猫デアル」が新聞に掲載され、ドラマが放映され、アンドロイドが作られるなど様々な企画が実施された。「夏目漱石の妻」というドラマでは漱石役の俳優が漱石の病的な神経質と暴力性を左右の目の大きさを変えて演じていて鬼気迫るものがあつたが、溢れる才気を持ち、人間のよいところも悪いところもよく見える繊細な人であつたようだ。漱石は正岡子規と仲がよく、生涯におよそ2,500句を詠んだ俳人でもあつた。漱石という名も子規の数ある俳号の中からとつたものである。明治29年、29歳の時に漱石は熊本の五高へ英語教師として赴任する。この熊本で暮らした4年3か月の間に漱石は1,000以上の句を詠んでいる。五高ではポート部の部長を務め、生徒と「紫溟吟社」という運座を作り俳句を楽しんだそうだ。〈たたかれて昼の蚊を吐く木魚哉 漱石〉

(編集委員：佐藤千恵子)

野依良治先生がスウェーデン大使館で「日本の大学が世界水準から遠ざかり、危機的状况にある」とのお話をされた。『學士會會報』923号に、「我が国は「科学技術立国」たり得るか」という随想を寄せられている。日本の大学の国際的地位は凋落し2005年から2017年の間にThe Higher Education 200校 (THE-200) に入っている大学は10校から2校に減り、韓国は3校から4校に増やした。一方、日本のノーベル賞受賞者数は2001年以降16名と米国の63名に次ぐ2位であるが、これは過去30年間の研究成果である。今や日本は合理性を欠く異形の教育体制を排し、世界標準モデルの教育体制を適用しないと科学技術の外部関連性から遊離してしまうと。他方、文科省は2002年から理数系先進教育を行う「スーパーサイエンス・ハイスクール」を、2014年からグローバル人材育成を目指す「スーパーグローバル・ハイスクール」の支援を強化している。今の日本の若者は内向きの者も多いが、国際競争力を持つ若者も増えていて二極分化しつつある。

(編集委員：田村恵美子)

この原稿を書いているタイミングではちょうど都内で桜の花が咲き始めました。20度を超す日も出てきてすっかり春です。先日、私はGoogle Nextというサンフランシスコでのイベントに参加して、花粉から逃れていました。そこでVideo Intelligence APIという動画の機械学習による識別機能が新サービスとして公開されました。これは、動画のシーン(スポーツ、テーマパークなど)を自動的に判別することが出来るのですが、機械学習の基となるデータとして「YouTube」のデータを活用出来るGoogleだからこそ成せたサービスだ、と言われてます。まさにこれからの時代はデータの活用がキモになるため、データを如何に集めるか(操れるか)が勝負になってきそうです。

(編集委員：吉積礼敏)

## NU7 第11号

2017年 5月1日 発行

編集兼  
発行人

大垣 眞一郎

発行元

一般社団法人学士会

〒101-8459 東京都千代田区神田錦町3-28

TEL: 03-3292-5950

FAX: 03-3292-2779

homepage: <http://www.gakushikai.or.jp/>

e-mail: [koho@gakushikai.or.jp](mailto:koho@gakushikai.or.jp)

印刷所

大日本法令印刷

# 会員通信

会員ギャラリー



「蝶の標本」テンペラ画

(中島裕司 会員 阪大・文・昭51)

# 学士会準会員制度と入会までの流れ

入会資格はあるけれども、学士会への入会までは・・・と迷われている方へ朗報です。学士会は、入会までのステップの一つとして、「準会員制度」（無料登録）を設けました！

## ◀ 準会員登録でできること ▶

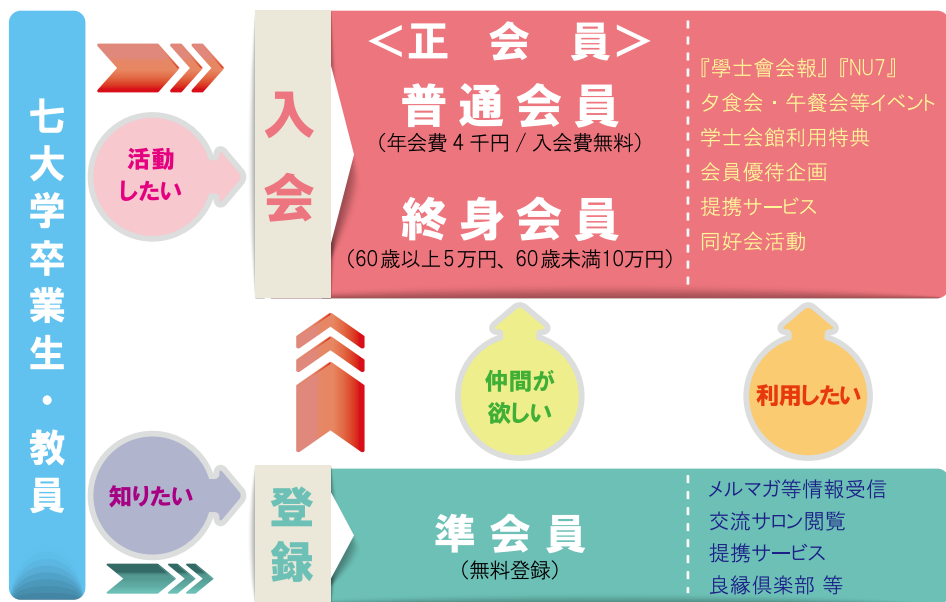
- 学士会・学士会館メールマガジン及び学士会イベント案内の受信
- コミュニティサイト「学士会会員交流サロン・謝恩の情」の閲覧（『Web マガジン・NU7+』の閲覧を含む）
- 『NU7』『Web マガジン・NU7+』での同窓会活動紹介
- 提携先の外部業者によるサービスの優待利用
- 準会員を対象にした学士会及び学士会館事業（良縁倶楽部等）への参加

登録はこちら



準会員から正会員へはいつでも変更可能です。まずはじっくりと「学士会」についてご理解いただき、そして、正会員としてご入会ください。

## ≫ 入会までの流れ ≫



学士会正会員・  
準会員の  
皆様へ

学士会館  
かわら版

良縁倶楽部  
会員募集!

学士会館・良縁倶楽部は、学士会正会員・準会員や  
その家族の婚活を支援します!

◆ サービス内容 ◆

- ・「良縁講座」「マナー講座」等婚活イベントの開催
- ・イベント参加者の相互紹介
- ・結婚相手紹介業者の紹介(良縁倶楽部会員特典有り)
- ・成婚後のご相談(結婚式・引越等)
- ・学士会館情報の送信(メールマガジン会員へ登録)
- ・その他、婚活支援に関する様々なサービス

◎ご来館でのご相談は、お手数ですが予約制とさせていただきます。

◆ お問い合わせ・ご予約 ◆

学士会館・良縁倶楽部 (<http://www.gakushikaikan.co.jp/ryoen/>)  
メールアドレス: [ryoen@gakushikaikan.co.jp](mailto:ryoen@gakushikaikan.co.jp)  
電話番号: 03-3292-5941 時間: 11時～19時  
定休日: 水曜日・木曜日

「学士会館・創業90周年婚礼顧客紹介キャンペーン」

～ 結婚式場をお探しの方をご紹介ください ～



結婚式場をお探しの方を、ご紹介いただき、学士会館にて披露宴を予約いただけましたら謝礼を差し上げます。また、ご利用されます方への特典もございます。

- \* 紹介期間: 2017年4月1日～2019年3月31日まで
- \* 対象挙式期間: 2018年4月1日～2019年3月31日の挙式
- \* ご紹介者は、披露宴をお考えのおふたりがご来館する前にウエディングデスクまで、ご連絡ください。
- \* 婚礼紹介エージェント経由の場合と、他特典の重複は致しかねます。

◎詳細につきましては、下記へお問合せください。  
学士会館・ウエディングデスク 03-3292-5946

学士会館

TEL. 03-3292-5936

FAX. 03-3292-0882

<http://www.gakushikaikan.co.jp/>

- 都営三田線/都営新宿線/東京メトロ半蔵門線「神保町」駅下車A9出口から徒歩1分
- 東京メトロ東西線「竹橋」駅下車3a出口から徒歩5分
- 東京駅「丸の内北口」から車で10分

# 学会の紹介

学会は、国立七大学（北大・東北大・東大・名大・京大・阪大・九大）の卒業生・学生・教員約5万人からなる総合同窓団体です。

学会の発端は、明治19（1886）年に開かれた東大初代総理・加藤弘之先生の謝恩会。130年以上の歴史を持つ学会は、現在、七大戦特別協賛をはじめとした七大学への支援や、七大学同窓団体との連携、会員向けに様々なサービスを展開しています。



## 会員資格

七大学の卒業生（学士・修士・博士）

七大学の教職員（教授・准教授・助教など）

七大学の学生

※詳細は、学会公式サイト「情報公開」の定款をご覧ください。

※学生は、学生会員への登録になります。登録料は無料です。



## 会費

入会金なし、年会費4,000円

※学部卒業後2年間は3,000円（学会事業年度は4月1日～翌3月31日）。

※会費一括納入の終身会員制度もございます。お問い合わせください。

**春季卒業生ご紹介キャンペーン実施中！  
新卒業生をご紹介ください。**

## 主な会員サービス

最新情報をお届けする学会メールマガジンは、どなたでもご覧いただけます。公式サイトよりご登録ください。



## 『学会会報』の発行

明治20（1887）年より今まで続いている『学会会報』は、年6回奇数月に発行、ご指定の住所にお届けしています。

924号（2017年5月発行）は、梶田隆章氏（2016年11月午餐会講師）の講演録を掲載しています。



## 講演会やイベントの開催

「夕食会」「午餐会」「関西茶話会」「地域講演会」「若手交流会」「女性会」など地域・年齢を考慮した講演会・イベントを開催しています。

6月午餐会には、昨年文化勲章を受章した作家・平岩弓枝氏の登壇が決定！演題等詳細は、33頁をご覧ください。



6月午餐会講師  
平岩 弓枝氏



## 企業と連携したサービス

オペラや観劇などのチケット割引サービス「鑑賞ツアー」（オプション付き）や、スポーツクラブなどの割引サービス等を行っています。

「しがくのとど」（宿泊・保養所）の割引利用や、インターネット辞書検索サイト「ジャパンナレッジ」の割引利用も大人気です！



## 「学会会館」の運営



集宴会や婚礼、宿泊には会員優待のある「学会会館」（東京都千代田区）をご利用ください。

<大人気！学会会館レストランサービス>  
会館レストランでのランチ（平日13時以降入店に限る・セブンスハウス除く）とディナー飲食料が10%割引！

入会をご希望の方は、学会公式サイトからお手続きください。

<http://www.gakushikai.or.jp/>

一般社団法人 学会



入会に関するお問い合わせは会員企画課まで /03-3292-5933（平日9時～17時）

